マツダ　スマートナビゲーション

取扱説明書

DJK2 V6 600
DJKB V6 600

B5A-0627-00(J)

目次

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

オプション

付録

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠	注意（しなければならない）の内容です。
🚫	禁止（してはいけない）の内容です。
❗	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

⚠警告

本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め･浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する
正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

自動車のコンソールに取り付ける
本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解･修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

使用方法について

⚠警告

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➜ P.164）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくすると GPS の測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路 * は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき

  *: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例:登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、システムを初期化する（➜ P.117）/ 暗証番号を解除する（➜ P.119）で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（下記）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846
（ディーラーオプション専用窓口）
FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜〜金曜 9:30 〜 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH： FH-SS 変調方式を表します。
1： 電波与干渉距離は 10m です。
□□□： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
  鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(➜ P.7)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(➜ P.13)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(➜ P.45)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）および音楽の操作方法について説明しています。(➜ P.79)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、ナビ設定、サウンド設定などについて説明しています。(➜ P.95)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作について説明しています。(➜ P.124)
オプション	ETC 車載器やバックモニターカメラなどを接続したときの操作方法について説明しています。(➜ P.138)
付録	関連する資料や用語解説、トラブルシューティングについて説明しています。(➜ P.149)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- ボタンの表記について

  [　　] は画面に表示される操作ボタンを表します。

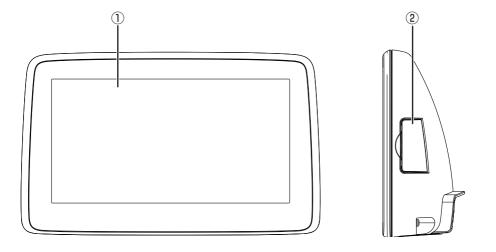
  例：[HOME] は HOME を表します。

本機の最新情報について

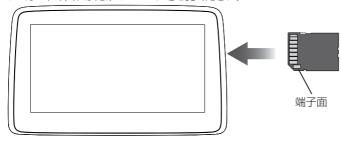
本機をより便利に使っていただくために、地図更新、ファームウェアのバージョンアップ情報などを下記ホームページに掲載しています。

http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/

お使いの型名をクリックすると情報が表示されます。

各部の名称とはたらき

① 画面

② SD 挿入口

SD カードを本機に入れるときは SD カードの端子面を手前にして挿入してください。
SD カードの入れかたは 87 ページをご覧ください。

基本操作

電源をオン / オフする

電源オン

車両のプッシュボタンスタートを押して「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のプッシュボタンスタートを押して「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

スタートアップガイドについて

本機の電源をオンにするとスタートアップガイドが表示されます。
スタートアップガイドは、操作ボタンの表示方法や HOME 画面の操作について説明しています。
スタートアップガイドは、表示しないようにすることもできます。操作についてはスタートアップガイドをご覧ください。

- [システムの初期化] (➜ P.117) を行うとガイドを表示しないように設定しても電源をオンにするとスタートアップガイドが表示されるようになります。
- スタートアップガイドはコマンダーでの操作はできません。画面にタッチして操作してください

画面の操作

■ 前の画面に戻る

［戻る］にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。
リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- **スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。**
  ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
  フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。

- **リストをページ送りする。**

送りたい方向の [△]/[▽] にタッチします。
[⊼]/[⊻] にタッチするとリストの最初または最後を表示します。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。

■ 設定画面

設定画面は、設定項目の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目にタッチして決定します。
②にタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。

②

本書では、リストをスクロールして設定の種類を探し、項目をタッチする操作を以下のように記載しています。

例： リストをスクロールして「表示」を探し、[映像画面 / 消灯画面の時計表示］をタッチする場合

“「表示」の [映像画面 / 消灯画面の時計表示] にタッチする”

■ シークバー

シークバー

AV 画面でシークバーが出ているときはタッチすると再生位置を表示、移動することができます。

画面表示のオン / オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

画面表示をオフにする

1 画面最上部中央にタッチしてそのまま下へ指をずらす（ドラッグする）

2 ［画面調整］にタッチする

3 ［画面オフ］にタッチする

画面表示が消えます。

画面表示をオンにする

1 画面表示のオフ中に画面にタッチする

画面表示をオフにする前の画面に戻ります。

- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックモニターカメラが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、バックモニターカメラの画面が表示されます。

画面の明るさを調整する

本機の画面の明るさ（-5 ～ +5）を調整します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 ［画面調整］にタッチする

3 「明るさ」の［ − ］または［ ＋ ］にタッチする

- 画面の明るさは、システム設定から調整することもできます。(➜ P.116)

視野角を調整する

画面が見えにくいときに、視野角（[-3] ～［0]）にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

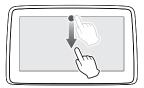
1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 ［画面調整］にタッチする

3 「視野角」の［-3］～［0］にタッチする

案内音量を調整する

ルート案内などの案内音量（1 ～ 20）を調整します。

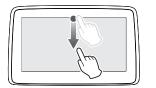
1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 「案内音量」の［ 🔉 ］または［ 🔊 ］にタッチする

- 上から引き出した操作ボタンは、操作ボタン以外の画面エリア（点線枠内）にタッチすると消えます。

- 案内音量は、ナビ設定から調整することもできます。(➜ P.107)

AV とハンズフリーの音量を調整する

AV とハンズフリーの音量（1 ～ 40）を調整します。AV は AV 再生中に、ハンズフリーは通話中にそれぞれ調整してください。音量値は個別に調整されます。

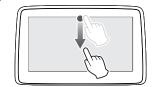
1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [▽] または [△] にタッチする

- 上から引き出した操作ボタンは、操作ボタン以外の画面エリア（点線枠内）にタッチすると消えます。

車種を設定する

車種を設定しておくと、有料道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。また車種に合わせた DTA（Digital Time Alignment）と音質（車種別イコライザーなど）が設定されます。

- 選択する車種がリストにない場合は［選択しない：(車両ナンバーの分類番号)］を選び、車両タイプの設定を行ってください。また、選択する車種があり、スピーカー数があてはまらない場合は、［ 車種名　その他］を選び、サウンド設定のスピーカー構成の設定を行ってください。(➜ P.111)
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [システム] にタッチする

システム設定画面が表示されます。

5「車両」の [車種] にタッチする

6 車種とスピーカーを選んでタッチする

車両タイプの設定をする

左記の車種設定で［選択しない：(車両ナンバーの分類番号)］を選択した場合の車両タイプ設定を行います。車両タイプに合わせた DTA が設定されます。

- 車種を設定した場合は車両タイプの設定は必要ありません。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [サウンド] にタッチする

サウンド設定画面が表示されます。

5 ［車両タイプ］にタッチする

6 タイプを選んでタッチする

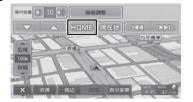
- DTA や音質については詳細に設定することができます。「サウンドの設定をする」(➜ P.110) をご覧ください。

HOME（ホーム）画面の構成

HOME（ホーム）画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。

HOME（ホーム）画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

HOME 画面が表示されます。

① **ソース切替**
ソース切替画面が表示されます。（➜ P.79）
ソース（音源）の切り替えができます。
ソース切替画面は HOME 画面を、右にフリックしても表示できます。

② **情報・設定**
情報・設定画面が表示されます。
（➜ P.95）
VICS 情報やエコ情報などの情報を表示します。また、ナビ、サウンド、システム、Bluetooth などを設定します。

③ **マイメニュー**
マイメニュー画面が表示されます。
（➜ P.21）
よく使う設定やメニューを登録して呼び出すことができます。

④ **ルート**
ルート画面が表示されます。（➜ P.70）
探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルートの編集ができます。

⑤ **目的地検索**
目的地検索画面が表示されます。
（➜ P.52）
行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。
目的地検索画面は HOME 画面を、左にフリックしても表示できます。

⑥ **電話**
電話（ハンズフリー）画面が表示されます。電話をかけたり、電話帳、プリセット登録などを行います。（➜ P.130）

⑦ **現在地**
現在地図画面が表示されます。（➜ P.45）

⑧ **AV**
選択しているソースの AV 画面が表示されます。
（➜ P.80）

マイメニューを使う

よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

1 HOME 画面を表示する（➜ P.20）

2 [マイメニュー] にタッチする

マイメニュー画面が表示されます。

3 呼び出したいショートカットボタンまたは特別メモリ地点にタッチする

ショートカット
登録してある機能を実行します。

特別メモリ地点
グループの「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点5」に設定した登録地点を呼び出します。
（➜ P.76）

ショートカットボタンに機能を登録する

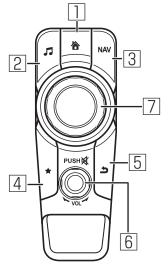
本機の機能をショートカットボタンに登録します。

1 [編集] にタッチする

2 登録するショートカットボタンにタッチする

3 登録する機能にタッチする

コマンダーを使う

お使いの車がコマンダーを装着していると、コマンダーで本機を操作することができます。
コマンダー操作はタッチ操作でできることをコマンダーを使って操作することができます。

キー	機能
1 🏠	・HOME 画面を表示します。 ・押し続けると、目的地検索画面を表示します。
2 ♫	・選択されているソースの AV 画面を表示します。 ・押し続けると AV ソースをオフにします。もう一度押し続けるとオンになります。 ・AV 画面中に押すとソース切替画面を表示します。
3 NAV	・現在地図画面を表示します。 ・押し続けると、画面表示をオフします。
4 ★	★メニューを表示します。詳細は 23 ページをご覧ください。
5 ⮌	画面に［戻る］が表示されているときは一つ前の画面に戻ります。

6 ボリュームノブ

- 左または右にまわすと AV、ハンズフリー通話の音量を調整 (0 ～ 40) します。
- 押すと AV ソースの音量を「システム設定」の [MUTE 設定] で " 下げる " に設定しているときは音量を一定量下げます。" 消音 " に設定しているときは、消音します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

7 コマンダーノブ

押す

コマンダーメニューまたはリストなどのハイライトを表示するコマンダーモードに切り替えます。
コマンダーモード中は項目を決定します。

左 / 右にまわす

- HOME 画面表示中
  左にまわすとソース切替画面、右にまわすと目的地検索画面を表示します。
- 地図画面表示中
  地図を縮小 / 拡大します。
- AV 画面でシークバー表示中
  シークバーを操作できます。
- リストまたは文字 / 番号入力画面表示中
  ハイライト（リスト / キーボードに表示）を上下にスクロールします。
- コマンダーメニュー表示中
  メニューを選びます。

上 / 下 / 左 / 右に傾ける

- 現在地図画面表示中
  地図を上下左右にスクロールします。
- リストまたは文字 / 番号入力画面表示中
  ハイライト（リスト / キーボードに表示）を上（上に傾ける）/ 下（下に傾ける）/ 左（左に傾ける）/ 右（右に傾ける）にスクロールします。

左 / 右に傾ける

- ラジオ、1Seg
  プリセット局を受信します。「サーチ中」が表示されるまで傾けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
- 音楽 / ビデオ再生
  前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。傾け続けると、早送り / 早戻しします。

上 / 下に傾ける

- ラジオ：FM と AM を切り替えます。
- 音楽ファイル：前 / 次のフォルダを選択します。

コマンダーメニューを表示する

本機では画面に表示されているボタンをコマンダー用のメニューとして表示します。

1 コマンダーノブを押す

押す

例：HOME 画面でコマンダーメニューを表示した場合

コマンダーメニュー

表示中の画面下部にコマンダーメニューが表示されます。

コマンダーメニューは本機のタッチ操作で使う画面のボタンと同じ操作ができるボタンを表示します。

★メニューについて

★メニューはどの画面でも表示できます。画質調整（➜ P.42）と画面表示サイズの調整（➜ P.43）ボタンは調整可能な映像画面のときに表示されます。

ボタン	説明
	マイメニュー画面を表示します。
	案内音量を調整します。
	画面の明るさを調整します。
	視野角を調整します。
	画質調整のブライトネスを調整します。（映像画面のときに表示されます。）
	画質調整のコントラストを調整します。（映像画面のときに表示されます。）
	画質調整の色の濃さを調整します。（映像画面のときに表示されます。）
	画面表示サイズ（アスペクト）を調整します。（映像画面のときに表示されます。別売の地上デジタルテレビチューナーの映像では表示されません。）
	Bluetooth 接続中に着信画面または通話中画面を表示します。（➜ P.131）
	シフトレバーを "R"(リバース) にしているときに、バックモニターの映像を [戻る] で消したときに再表示します。

コマンダーメニューを消す

1 コマンダーノブを下に傾ける

コマンダーメニューが消えます。

- コマンダーメニュー表示中に画面にタッチするとタッチ操作に切り替わります。
- コマンダーメニューは、操作が一定時間行われないと消えます。

画面の操作

リストの操作

コマンダーのリスト操作は表示される画面に選択できるボタンがあるかないかで操作が異なります。

■ 選択できるボタンがある場合

選択できるボタン

1 コマンダーメニューを表示する

押す

▼

コマンダーメニューが表示されます。

2 [リスト選択］を選んで決定する

左 / 右にまわす

▼

押す

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

3 選択したい項目を選ぶ

上 / 下に傾ける

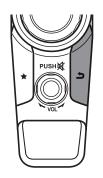
または

左 / 右にまわす

▼

押す

■ リスト操作を終了するときは

リスト内の選択できるボタンを選ぶときも、以下の操作でリスト操作を終了させ、コマンダーメニューを表示してから操作します。

1 コマンダーの 押す

■ 選択できるボタンがない場合

1 コマンダーモードにする

押す

▼

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

2 選択したい項目を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

- リスト操作を終了するときは、コマンダーの を押します。

設定画面の操作

設定項目

1 コマンダーモードにする

押す

▼

リストの先頭項目がハイライトされリストが選択できるようになります。

2 設定したい項目を選ぶ

上 / 下に傾ける

または

左 / 右にまわす

▼

押す

- コマンダーで「決定」をしても選択画面が表示されているときはコマンダーの を押して画面を閉じてください。

地図画面の操作

- 地図の縮尺とスクロールはコマンダーメニューが表示されていないときに操作してください。

現在地図画面を表示する

1 コマンダーの NAV を押す

■ 地図の縮尺を変える

1 現在地図画面でコマンダーノブをまわす

左 / 右にまわす

▼

地図が拡大または縮小します。

■ 地図をスクロールする

1 現在地図画面でコマンダーノブを上下左右に傾ける

上 / 下 / 左 / 右に傾ける

▼

地図が上下左右にスクロールします。

■ 地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

1 コマンダーメニューを表示する

押す

2 [ビュー切替］を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

押すたびに地図の向きが切り替わります。

AV の操作

コマンダーを使って AV の操作をします。

ソースを選択する

1 ■ **現在地図画面から表示する**

コマンダーの ♫ を２回押す

■ **AV 画面から表示する**

コマンダーの ♫ を押す

▼

ソース切替画面が表示されます。

2 コマンダーメニューを表示する

押す

3 選択したいソースを選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

AV 画面を表示する

選択されているソースの AV 画面を表示します。

1 コマンダーの ♫ を押す

▼

AV 画面が表示されます。

自宅または地点を登録する

コマンダーを使って自宅または地点を登録する操作を説明します。

1 自宅または登録したい地点を表示する

地点を表示するには、地図をスクロールする、または目的地検索画面の検索方法を選んで地点を選択する方法があります。

2 コマンダーメニューを表示する

押す

3 [登録] を選ぶ

押す

登録地点編集画面が表示されます。

4 [グループ] を選ぶ

5 ■ **自宅に登録する場合**

[自宅] を選ぶ

■ **自宅以外に登録する場合**

登録先を選ぶ

自宅に帰る

1 コマンダーの NAV を押す

現在地画面が表示されます。

2 コマンダーメニューを表示する

押す

3 [自宅] を選ぶ

メッセージが表示されます。

4 [はい] を選ぶ

押す

案内を開始する

お買い上げ時の設定は「推奨」ルートに設定されます。推奨ルートのままで良い場合は手順 4 に進んでください。

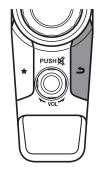
1 [ルート] を選ぶ

探索条件がハイライトされて選択できるようになります。

2 ルートの探索条件を選ぶ

押す

つづく→

3 コマンダーの ⮌ 押す

コマンダーメニューが表示されます。

4 [案内開始］を選ぶ

案内が開始されます。

目的地を検索して案内を開始する

コマンダーを使って目的地を設定して案内を開始します。検索方法は「名称」で説明します。

目的地を検索する

1 コマンダーの を押す

HOME 画面が表示されます。

2 コマンダーメニューを表示する

3 [目的地検索] を選ぶ

目的地検索画面が表示されます

4 [名称］を選ぶ

5 施設の名前を入力する

または

6［検索］を選ぶ

または

検索結果がリストで表示されます。

7 [リスト選択］を選ぶ

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

つづく➔

8 行き先を選ぶ

上 / 下に傾ける

または

左 / 右にまわす

▼

押す

9 [ピン選択] を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

[前へ] がハイライトされ、[前へ]、[次へ]、[このピンを選択] が選択できるようになります。

10 [このピンを選択] を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

11 [目的地にする] を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

目的地に設定されます。

▼

案内を開始する操作は 29 ページをご覧ください。

ラジオの基本操作

バンドを選んで放送局を切り替える

1 コマンダーメニューを表示する

押す

2 [Band] または [Band] を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

3 [Seek]、[Seek]、[Preset/Search] または [Preset/Search] で放送局を選ぶ

左 / 右にまわす

▼

押す

オート選局

左 / 右に傾け続ける

左または右に「サーチ中」が表示されるまで傾けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
もう一度同じ方向に傾けると、オート選局を中止します。

■ **コマンダーメニューから操作する場合**

1 コマンダーメニューを表示して [Preset/Search] または [Preset/Search] を選ぶ

左 / 右にまわす

2

押し続ける

受信可能な放送局を自動的に受信します。

リストから放送局を選ぶ

エリアモードのプリセット放送局リストから放送局を選びます。

1 コマンダーメニューを表示して［ プリセット切替］を選ぶ

2 プリセットモードの「エリア」が表示されるまでコマンダーノブを押す

押すたびに表示が切り替わります。

3 ［ リスト］を選ぶ

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

4 放送局を選ぶ

放送局をプリセットする

1 プリセットしたい放送局を選ぶ

2 コマンダーメニューを表示して［ プリセット切替］を選ぶ

3 コマンダーノブを押してプリセットモードの［お気に入り 1］または［お気に入り 2］を選ぶ

4 ［ プリセット選択］を選ぶ

プリセットボタンがハイライトされてプリセットボタンが選択できるようになります。

5 登録したいプリセットボタンを選んで登録する

プリセットされた放送局を受信する

1 「放送局をプリセットする」の手順２と３で呼び出したいプリセットのモードを選ぶ

2 コマンダーメニューを表示して［ プリセット選択］を選ぶ

プリセットボタンがハイライトされてプリセットボタンが選択できるようになります。

3 呼び出したいプリセットボタンを選ぶ

SD/USB/iPod の基本操作

再生 / 一時停止する

1 コマンダーメニューを表示する

押す

2 [Play/Pause］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

再生位置を移動する

AV 画面でコマンダーメニューを表示していないときに、コマンダーノブを左または右にまわすと、シークバーが動き再生位置を移動することができます。

左 / 右にまわす

シークバー

早送り / 早戻しする

コマンダーメニューを表示していないときに、左または右に傾け続けると早送り / 早戻しします。

左 / 右に傾け続ける

■ コマンダーメニューから操作する場合

1 コマンダーメニューを表示して
[B.Skip］または
[F.Skip］を選ぶ

左 / 右にまわす

押し続ける

再生するファイルを選ぶ

コマンダーメニューを表示していないときに、左または右に傾けると前または次のファイルを選べます。

左 / 右に傾ける

- コマンダーメニューを表示していないときに、コマンダーを上 / 下に傾けると前 / 次のフォルダを選ぶことができます。

■ コマンダーメニューから操作する場合

1 コマンダーメニューを表示して
[B.Skip］または
[F.Skip］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

- コマンダーメニューのフォルダを選ぶと前 / 次のフォルダを選べます。

リストから再生するファイルを選ぶ

■ SD/USB の場合

1 コマンダーメニューを表示して
[リスト］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

2 [リスト選択］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

つづく➜

3 再生するファイルを選ぶ

■ **iPodの場合**

1 コマンダーメニューを表示して
[リスト] を選ぶ

2 [ミュージックリスト] または
[ビデオリスト] を選ぶ

3 [リスト選択] を選ぶ

リストの先頭項目がハイライトされてリストが選択できるようになります。

4 カテゴリーを選んで、再生するファイルを選ぶ

再生モードを切り替える

1 コマンダーメニューを表示して
[リピート] または
[ランダム] を選ぶ

2 コマンダーノブを押して設定したいリピートモードまたはランダムモードを選ぶ

ワンセグの基本操作

別売の地上デジタルテレビチューナーを接続した場合は「1Seg」ソースは表示されません。

放送局を選ぶ

1 [Preset/Search] または
[Preset/Search] を選ぶ

登録（プリセット）した放送局から選ぶ

1 [プリセット切替] を選ぶ

つづく➔

2 コマンダーノブを押してプリセットモードの［エリア］または［お気に入り］を選ぶ

押す

3 ［ プリセット選択］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

4 放送局を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

ディスクの基本操作

別売の CD プレーヤーまたは CD/DVD プレーヤーを接続した場合の操作です。

再生 / 一時停止する

1 コマンダーメニューを表示する

押す

2 ［ Play/Pause］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

再生位置を移動する

AV 画面でコマンダーメニューを表示していないときに、コマンダーノブを左または右にまわすと、シークバーが動き再生位置を移動することができます。

左 / 右にまわす

シークバー

早送り / 早戻しする

コマンダーメニューを表示していないときに、左または右に傾け続けると早送り / 早戻しします。

左 / 右に傾け続ける

■ **コマンダーメニューから操作する場合**

1 コマンダーメニューを表示して
［ B.Skip］または
［ F.Skip］を選ぶ

左 / 右にまわす

押し続ける

再生する曲 / ビデオ / ファイルを選ぶ

コマンダーメニューを表示していないときに、左または右に傾けると前または次の曲 / ビデオ / ファイルを選べます。

左 / 右に傾ける

- オーディオファイルディスクの場合は、コマンダーメニューを表示していないときに、コマンダーを上 / 下に傾けると前 / 次のフォルダを選ぶことができます。

■ **コマンダーメニューから操作する場合**

1 コマンダーメニューを表示して
［ B.Skip］または
［ F.Skip］を選ぶ

左 / 右にまわす

押す

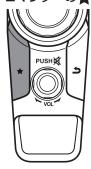
- オーディオファイルディスクの場合は、コマンダーメニューのフォルダを選ぶと前 / 次のフォルダを選べます。

画質を調整する

コマンダーを使って画質調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。

1 調整したい映像ソースを選択して AV 画面を表示する（➜ P.27）

2 コマンダーの★を押す

3 調整したい項目（[ブライトネス調整]、[コントラスト調整] または [色の濃さ]）を選ぶ

ブライトネス：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整 (強弱) します。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。

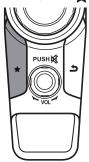
4 選んだ項目を調整する

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ、ワンセグ、別売の地上デジタルテレビチューナーの映像は変更できません。

1 サイズを変更する映像ソースの AV 画面を表示する（➜ P.27）

2 コマンダーの★を押す

3 [アスペクト] を選ぶ

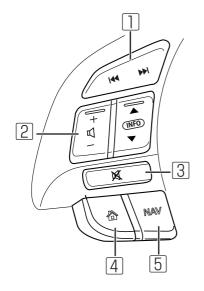
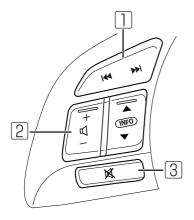
4 サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル（SD、USB ソースのみ）：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

ステアリングリモコンを使う

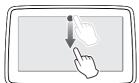
お使いの車がステアリングリモコンを装着していると、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

キー	機能
1 ⏮ ⏭	・ラジオ、1Seg： 放送局を切り替えます。 「サーチ中」が表示されるまで押し続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。もう一度押すと、オート選局を中止します。 ・音楽 / ビデオ再生： 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早送り / 早戻しします。
2 🔈＋ / 🔈−	AV、ハンズフリー通話の音量を調整 (0 ～ 40) します。
3 🔇	AV ソースの音量を「システム設定」の [MUTE 設定] で " 下げる " に設定しているときは音量を一定量下げます。 " 消音 " に設定しているときは、消音します。 もう一度押すと元の音量に戻ります。
4 🏠	・HOME 画面を表示します。 ・押し続けると、目的地検索画面を表示します。
5 NAV	・現在地図画面を表示します。 ・押し続けると、画面表示をオフにします。

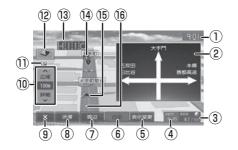
- キーは本機の操作では使用しません。
- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が 25 まで上がります。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [現在地］にタッチする

現在地図画面が表示されます。

① 時計
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

② 方面看板
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

③ エコドライブ評価

④ VICS 情報提供時刻
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑤［表示変更］：地図の表示方法を設定します。

⑥［自宅］：自宅へ帰るルートを探索します。

⑦［周辺］：周辺の施設を検索します。

⑧［渋滞］：VICS 情報画面を表示します。

⑨［ X ］：⑤〜⑧を消します。消すと［表示］になります。［表示］にタッチすると⑤〜⑧を表示します。

⑩［広域］／［詳細］
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。

⑪ ランドマーク
目印となる施設がマークで地図上（200m スケール以下のとき）に表示されます。タッチすると施設名、距離、方向が表示されます。

⑫ （コンパスボタン）
地図の方位が表示されます。（➜ P.46）
タッチするたびに、地図の向きを切り替えることができます。

⑬ レーン情報
次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑭ 案内地点
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑮ 自車マーク

⑯ 走行軌跡
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示を消すことや、データを消去することもできます。（➜ P.109）

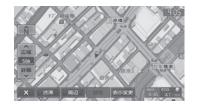
- 現在地図画面で左記の手順２の［現在地］を押すと画面上部に地点情報を表示します。
- 現在地図画面は、HOME 画面の [現在地] にタッチしても表示できます。（➜ P.20）

地図の縮尺を変える

1 ［広域］または［詳細］にタッチする

それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

市街地図について

市街地図は、50m 以下で表示されます。「100m 縮尺での市街地図表示」を「ON」にすると、100m 以下で表示できます。設定については 107 ページをご覧ください。

- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➜ P.48）で縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときは、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。

地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）を切り替えることができます。表示方法は「3D ビュー」、「2D ノースアップ」、「2D ヘディングアップ」の 3 つがあります。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。

（3D ビュー）

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。
市街地図では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。

（2D ノースアップ）

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（2D ヘディングアップ）

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（➜ P.107）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

地図を 2 画面表示する

現在地図画面の上に小画面の地図または AV 簡易画面を表示することができます。

1 ［表示変更］にタッチする

2

［地図 1 画面］：
現在地図画面を表示します。

［地図 2 画面］：
現在地図画面の上に小画面の地図を表示します。

［地図 &AV 簡易画面］：
現在地図画面と選択しているソースの AV 簡易画面を表示します。
AV 簡易画面にタッチすると AV 全画面を表示します。

［走行軌跡の表示］、［ランドマーク表示］、［VICS 情報表示］はナビ設定（➜ P.106）の各項目のショートカットです。
［ルート表示］、［目的地表示］はルートメニュー（➜ P.73）の各項目のショートカットです。
［ハイウェイモード］は 65 ページをご覧ください。

- 地図 2 画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の向き、縮尺、2D/3D 表示の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 地図 2 画面表示中の小画面の地図は、スクロールできません。
- AV 簡易画面に映像ソースの映像は表示されません。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

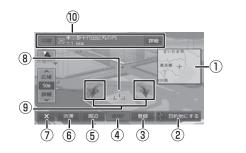
■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。

■ **ポイントスクロール**

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。
- スクロールした後にフロントパネル最上部中央から下へドラッグして［現在地］にタッチすると、現在地図画面に戻ります。
- 地図の向きが3Dビューのとき、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

スクロール地図画面の見かた

① **フライビューマップ**
スクロールした地点を広域地図で表示します。

② **［目的地にする］**：この地点を目的地に設定します。

③ **［登録］**：この地点を登録します。

④ **［提携 P］**：
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

⑤ **［周辺］**：周辺の施設を検索します。

⑥ **［渋滞］**：VICS 情報画面を表示します。（➜ P.102）

⑦ ［X］：②～⑥を消します。消すと［表示］になります。［表示］にタッチすると②～⑥を表示します。

⑧ （カーソル）
地図画面の中心点に表示されます。

⑨ **地図回転ボタン**
3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

⑩ **地点情報**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。
［切替］：
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。
［詳細］：
地点詳細情報画面を表示します。

携帯電話またはスマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、49ページをご覧ください。

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 詳細情報がすべて表示されていないときは画面をスクロールすると表示できます。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、地点情報を QR コード（2 次元バーコード）に変換し携帯電話またはスマートフォンで読み取ると、携帯電話またはスマートフォンで地図を見ることができるサービスです。

- 「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンでご利用いただけます。
- 携帯電話の機種によっては、QR コードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合は QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 携帯電話での QR コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 読み取った地図 1 画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、1 画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- ケータイ MapFan またはプレミアム MapFan の会員の方は、地図の縮尺変更（スマートフォンは可能）や移動など、1 画面を超える範囲を見ることができます。
  また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- 「マッククリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

ここまでの手順 ➔ 地点を検索する

1 地点詳細情報画面（➜ P.48）**を表示する**

2 QR コードを、携帯電話またはスマートフォンで読み取る

（地点地図）：
カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋現在地）：
カーソルのある地点と現在地の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：
カーソルのある地点と目的地の位置を QR コードで表示します。

▼

QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

：
携帯電話またはスマートフォンが本機と Bluetooth 接続されていると、電話をかけることができます。

ナビゲーションの流れ

行き先を探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➜ P.52)

地図画面から

地図をスクロールして行き先を探して(➜ P.48)、[目的地にする]にタッチします。

行き先に設定する

[目的地にする]にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(➜ P.61)

- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(➜ P.70)

ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➜ P.70)

[推奨]/[距離]/[高速]/[一般]/[高速/距離]:
指定した条件でルートを探索します。(➜ P.61)

[ルート情報]:
選択したルートの情報を確認します。

:
利用するインターチェンジを変更します。(➜ P.72)
有料道路を使用するときに表示されます。

案内を開始する

[案内開始]にタッチする

ルート案内がはじまります。

ルート案内を開始した後は

- **経由地の設定・入れ替え**
  途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➜ P.70)
- **案内終了**
  ルート案内を中止します。(➜ P.74)

自宅を登録する/自宅に帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

1 自宅の場所にカーソルを合わせて、[登録]にタッチする

2 [グループ]にタッチする

3 [自宅]にタッチする

自宅を変更する

すでに自宅が登録されているときに、新しく自宅を登録すると、確認メッセージが表示されます。

[はい]にタッチすると自宅が変更されます。
先に自宅として登録されていた地点は、[未分類]グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 現在地図画面を表示して(➜ P.45)[自宅]にタッチする

確認メッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチする

自宅へのルート案内が開始されます。(➜ P.61)

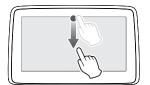
- 目的地検索画面の[自宅]にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(➜ P.52)

行き先を探す

目的地検索画面で探す

本機の「目的地検索」画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

目的地検索画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [目的地検索] にタッチする

目的地検索画面が表示されます。

名称：
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。
(➜ P.53)

ジャンル：
食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。(➜ P.56)

登録地点：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。(➜ P.57)

自宅：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。
あらかじめ自宅の登録が必要です。(➜ P.51)

住所：
住所から目的地を探します。(➜ P.57)

履歴：
いままでにルートを探索した行き先から探します。(➜ P.58)

番号：
電話番号、郵便番号、マップコードを入力して行き先を探します。(➜ P.59)

まっぷるコード：
まっぷるコードで行き先を探します。
(➜ P.59)

- スマートフォンアプリケーション「NaviCon」を使って目的地や経由地に設定することができます。(➜ P.60)

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 [名称] にタッチする

2 施設の名前を入力して、[検索] にタッチする

- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が 5 件以下になると、自動的に手順 3 の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする

[エリア指定]：
さらに指定したエリアで検索します。
(➜ P.54)

[ジャンルで絞り込む]：
さらにジャンルで絞り込みます。
(➜ P.55)

[名称順]：
検索結果を名称順で表示します。

[距離順]：
検索結果を距離順で表示します。

4 [このピンを選択] にタッチする

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索がはじまります。(➜ P.61)

- ピンは手順 3 で指定した行き先を含めて 50 件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ] または [次へ] にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面（53 ページの手順 3）で［エリア指定］にタッチする

2 指定したいエリアにタッチする

［地域を指定］：
住所を入力して検索します。（➜ P.57）

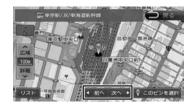
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［現在地周辺］／［目的地周辺］／
［経由地（1 ～ 4）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 4 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］にタッチする

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- 手順 2 の［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 4）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 検索結果画面（53 ページの手順 3）で［ジャンルで絞り込む］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択ジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➜ P.54）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 ［ジャンル］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したいエリアにタッチする

［地域を指定］：
住所を入力して検索します。（➜ P.57）

［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート周辺］：
ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］／［目的地周辺］／
［経由地（1 ～ 4）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

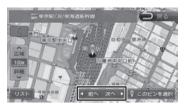
［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- 手順3の［ルート周辺］は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大 50 件）
  その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。(最大 50 件)
- ［ルート周辺］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の［目的地周辺］／［ルート周辺］／［経由地（1 ～ 4）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 75 ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、76 ページをご覧ください。

1 ［登録地点］にタッチする

2 グループにタッチする

3 登録地点にタッチする

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 ［住所］にタッチする

2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が４つまで表示されています。

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- ［番地を入力］にタッチすると番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭だしします。
- ［代表地点］にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 ［履歴］にタッチする

2 検索履歴にタッチする

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面（左記の手順 2）で［削除］にタッチする

2 削除する履歴地点にタッチする

複数の履歴を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］にタッチして、［はい］にタッチする

電話番号・郵便番号・マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先を探します。

1 ［番号］にタッチする

2 検索に使用する番号の種類にタッチする

3 番号を入力して、［検索］にタッチする

：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- 電話番号と郵便番号のハイフンは入力しません。
- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］にタッチする必要はありません。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して［検索］にタッチします。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（http://www.e-mapcode.com/）をご覧ください。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードを入力して、観光地などを探します。

1 ［まっぷるコード］にタッチする

2 まっぷるコードを入力して［検索］にタッチする

：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

- まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ（http://www.mapple.co.jp/）をご覧ください。

スマートフォンアプリ「NaviCon」との連携

「NaviCon」（スマートフォン用アプリケーション）は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。

また、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や詳細については下記の URL をご覧ください。
http://navicon.denso.co.jp/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。

NaviCon から本機で目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する
本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認しておいてください。

■ iPhone を接続する場合
本機の USB ケーブルに接続します。
iPod 接続ケーブルについては 162 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合
Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。

3「NaviCon」を起動する

4「NaviCon」から本機に地点情報を転送する
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

転送された場所が本機に表示されます。

▼

［目的地にする］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。また、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

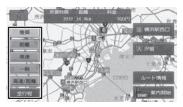
ここまでの手順 ➜ 行き先を検索する

1［目的地にする］にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。
すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- ルート探索時にスマート IC またはフェリーを使用するように設定することができます（➜ P.107）
- ［提携 P］が表示されたときは 63 ページをご覧ください。
- 経由地を設定する場合は 70 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
［はい］：　一般道を目的地（経由地）に設定します。
［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着時点を選択しますか？」と表示されたときは、63 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件にタッチする
目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。

［推奨］：
本機が推奨するルートです。

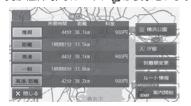
［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

つづく➜

[全行程]：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。
全行程を表示すると、ルートの中でエコ（燃費が経済的）なルートにが表示されます。

[到着順変更]：
経由地を設定しているときに表示されます。ルートの編集をします。（➜ P.70）

[ルート情報]：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

[汐留] / [横浜駅西口]：
利用するインターチェンジを変更します。（➜ P.72）
有料道路を使用するときに表示されます。

2 [案内開始] にタッチする

ルート案内が開始されます。（➜ P.64）

- 表示される料金には、ETC 割引などの各種割引は考慮されていません。
- 料金は、地図データベース作成時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「〜円以上」または「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)
- 最適時間を考慮した探索をするには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）または DSRC 車載器（別売）による VICS 情報取得が必要です。

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P] にタッチする

2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。

3 [このピンを選択] にタッチする

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

複数の到着地点情報があったとき

検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 [はい] にタッチする

2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 [このピンを選択] にタッチする

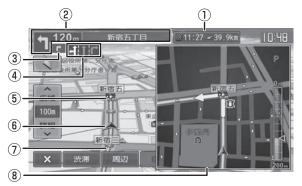
選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。（➜ P.61）

ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。

① **到着予想時刻と距離**
対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
タッチすると、対象の行き先が切り替わります。

② **次案内ポイント情報**
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ **次々案内ポイント情報**
さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ **レーン情報表示**
（白色矢印）：案内レーン
（水色矢印）：推奨通過レーン

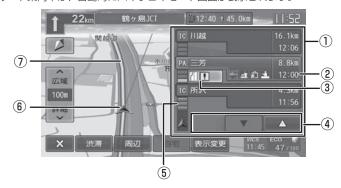
⑤ **案内ポイント**

⑥ **自車位置マーク**

⑦ **案内ルート**
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。

⑧ **案内ポイントでの割り込み表示**
案内ポイントに近づくと、交差点案内図、または高速分岐イラストが表示されます。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。

① **ハイウェイモード画面**
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

② **施設名称 / 施設案内表示**
進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大４個です。

③ **規制情報表示**
車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が３件までマークで表示されます。
マークにタッチすると詳細情報を表示します。
情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ **スクロールボタン / 現区間**
ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。スクロールすると［現区間］ボタンが表示されます。［現区間］にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑤ **交通情報表示**
施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑥ **自車マーク**

⑦ **案内ルート**

- ハイウェイモード画面は、高速道路を走行中に表示されます（ルート案内中以外でも表示されます）。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■ ハイウェイモード画面を閉じる

［表示変更］にタッチします。

［ハイウェイモード］にタッチしてチェックを外します。

再度表示させるときは、上の画面を表示して［ハイウェイモード］にタッチしてチェックを付けてください。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと交差点案内図 / 高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は現在地図画面のときに表示されます。
割り込み表示は表示しないように設定することができます。(➜ P.107)
割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。
消した割り込み表示は、画面最上部中央から下へドラッグして［現在地］にタッチするともう一度表示できます。

交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。

■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。

場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。

■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

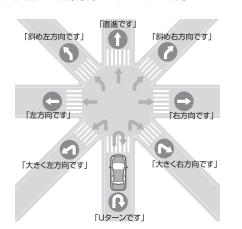
出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。
ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。

音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

- 音声案内の前には"ジャーン"と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➜ P.107)
- 案内音声の音量調整は 17 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 案内音声出力時の AV 音量を設定することができます。(➜ P.116)
- ルート案内ポイントの直前では"ポンポン"と音が鳴ります。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。

- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

最適時間を考慮してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➜ P.107)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご注意ください。
	この先、走行するレーンにご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行するレーンにご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

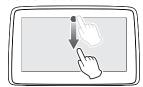
■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。
	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。 左へお寄りください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [ルート] にタッチする

ルート画面が表示されます。

4 [再探索] にタッチする

5 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする

▼

選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 4 か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ➤ 行き先を検索する

1 ［経由地にする］にタッチする

2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

ルートの探索がはじまります。

3 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

［到着順変更］：
到着順を編集することができます。編集操作は下の「目的地・経由地の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 〜 3）［到着順変更］にタッチする

2 順番を変更する行き先にタッチする

3 移動先の［挿入］にタッチする

4 ［再探索］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 〜 3）［到着順変更］にタッチする

2 削除する行き先にタッチする

3 ［削除］にタッチする

選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］にタッチする

5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

- 経由地を設定しているときにインターチェンジを変更することはできません。

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 ～ 3）［再探索］にタッチする

2 変更したい入口または出口 IC にタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

切替：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 ［この IC に変更］にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 ［案内開始］にタッチする

［IC 変更を解除 ］：
タッチすると IC 変更を解除します。

- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 ～ 3）［再探索］にタッチする

2 ［IC 変更を解除］にタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 ［案内開始］にタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 ～ 3）［ルート表示］にタッチする

▼

［ルート情報］：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

［×1］／［×2］／［×3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：デモ走行を終了します。

- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 ルート画面を表示して（69 ページの手順 1 〜 3）［目的地表示］にタッチする

2 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

▼

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

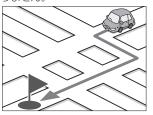
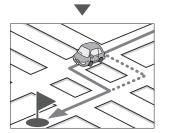
1 ルート画面の［案内終了］にタッチし、［はい］にタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。
  旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。

▼

地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい地点を検索する

2 ［登録］にタッチする

地点が本機に登録されます。

- 登録した地点は、「未分類」グループに登録されます。

関連キーワード

- **登録地点編集**
  登録した地点の名前や電話番号、グループを編集できます。（➜ P.76）
- **登録地点の削除**
  すでに地点を 300 件登録しているときは、不要な登録地点を削除してから登録してください。（➜ P.77）

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 目的地検索画面を表示して（➜ P.52）［登録地点］にタッチする

2 見たい地点情報のグループにタッチする

▼

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 目的地検索画面を表示して（➜ P.52）［登録地点］にタッチする

2 ［編集］にタッチする

3 編集したい地点のグループにタッチする

4 編集したい地点にタッチする

5 編集したい項目にタッチして編集する

● 名称を編集する
名称欄にタッチして名称を入力して［決定］にタッチします。

● 電話番号を編集する
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して［決定］にタッチします。

● グループを変更する
グループ欄にタッチして変更したいグループにタッチします。

● グループ名を編集する
手順2の登録地点検索画面で［グループ名変更］にタッチします。

編集したいグループにタッチしてグループ名を入力して［決定］にタッチします。

- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 78 ページをご覧ください
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「－」は省略することもできます。
- 未分類の地点を自宅にグループ変更したときに、すでに自宅が登録されていると、確認メッセージが表示されます。（➜ P.51）
- 名称、グループ名には、漢字、ひらがな / カタカナ、英字、数字 / 記号で 48 文字まで入力できます。
- 未分類、自宅、特別メモリ地点はグループ名を変更できません。

登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 登録地点検索画面を表示して（76 ページの手順 1、2）［削除］にタッチする

2 削除したい地点のあるグループにタッチする

3 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

4 ［削除］にタッチする

5 ［はい］にタッチする

文字入力のしかた

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする

［切替］：
タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ） / 英数 / 記号に切り替わります。

［小文字］：
小文字に切り替わります。

［半角］：
半角英数文字または記号に切り替わります。

文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする

2 変換する場合は、［変換］にタッチする

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 ［決定］にタッチする

文字の入力が確定されます。

- ◁ または ▷ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して BS にタッチすると文字を消すことができます。
- BS をタッチし続けると、入力した文字列が全消去されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

ソース切替画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [ソース切替] にタッチする

ソース切替画面が表示されます。

▼

iPod：
iPod のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.90）

USB：
USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.87）

SD：
SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.87）

BT AUDIO：
本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。（➜ P.137）

1Seg：
ワンセグ放送を受信します。（➜ P.85）

TUNER：
ラジオ放送を受信します。（➜ P.83）

AV-IN1/AV-IN2：
本機に接続した外部機器のソースに切り替えます。
本機に別売の地デジチューナーを接続したときは AV-IN1 が DTV ソースになります。
（➜ P.148）
本機に別売の CD プレーヤー、CD/DVD プレーヤーを接続したときは、AV-IN2 が DISC ソースになります。（➜ P.144）

STANDBY：
AV 機能をオフにします。
AV 機能をオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

・ 別売の地上デジタルテレビチューナーを接続したときは 1Seg ソースは表示されません。

関連キーワード

● 画面の時計表示
ビデオファイルを再生するときに、
時計を表示しないようにすることもできます。（➜ P.116）

AV 画面を表示する

選択されているソースの AV 画面を表示します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [AV] にタッチする

AV 画面が表示されます。

スキップ / サーチキーを使う

各ソースの AV 画面に表示されるスキップ / サーチキーを別の場所から表示して操作することができます。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [⏮]/[⏭] にタッチする

ラジオ、ワンセグ：
プリセット局を受信します。「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。(オート選局) もう一度タッチすると、オート選局を中止します。

• **音楽 / ビデオ再生：**
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。

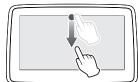
• 上から引き出した操作ボタンは、操作ボタン以外の画面エリア (点線枠内) にタッチすると消えます。

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

• 地図画面の画質は調整できません。

1 調整する映像ソースの AV 画面を表示する (➜ P.80)

2 画面最上部中央から下へドラッグする

3 [画面調整] にタッチする

4 [◁] / [▷] (-4 ～ 0 ～ +4) にタッチして各項目を調整する

ブライトネス：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整 (強弱) します。

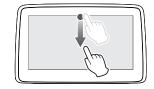
色の濃さ：
色の濃淡を調整します。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

• カメラ、ワンセグ、別売の地上デジタルテレビチューナーの映像は変更できません。

1 サイズを変更する映像ソースの AV 画面を表示する (➜ P.80)

2 画面最上部中央から下へドラッグする

3 [画面調整] にタッチする

3 「アスペクト」の [◁] / [▷] にタッチして、サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル (SD、USB ソースのみ)：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16：9 画像	4：3 画像	その他	
アスペクト設定				
レギュラー				
フル				
オリジナル（SD、USB ソースのみ）				

ラジオを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを TUNER に切り替える（➜ P.79）

① プリセット番号
② 受信中の放送局
③ プリセットモード
④ ステレオ受信表示
⑤ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［プリセット切替］	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）が切り替わります。
［FM］/［AM］	受信するバンドを切り替えます。
［交通情報］	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します。
［1］～［8］（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
＜ / ＞	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します。（マニュアル選局） タッチし続けるとタッチしている間、周波数が連続して変わります。
|◀◀ / ▶▶|	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。（オート選局）もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
［リスト］	プリセットモードがエリアのときに、プリセットされている放送局をリスト表示します。

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ **エリアモード**

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、［リスト］にタッチすると表示できます。（➜ P.84）

■ **お気に入りモード**

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。
（➜ P.84）

1 ［プリセット切替］にタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、エリアモードに切り替える

2 ［リスト］にタッチする

3 受信する放送局にタッチする

1 ～ 8：
プリセットボタンにプリセットされている放送局

編：
コミュニティ FM 局

・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（➜ P.83）

2 ［プリセット切替］にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

1 ［交通情報］にタッチする

受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

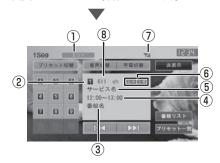
手動で切り替えるには、［1620kHz］または［1629kHz］にタッチします。

ワンセグを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを 1Seg に切り替える（➜ P.79）

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① プリセットモード
② プリセット番号
③ 番組名
④ 放送時間
⑤ 受信している放送局名またはサービス名
⑥ 音声および字幕
音声または字幕が切り替えられるときに表示されます。
⑦ 電波の強さ
⑧ チャンネル番号

・ 別売の地上デジタルテレビチューナーを接続したときは、1Seg ソースは表示されません。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［プリセット切替］	プリセットモード（ホーム / お出かけ / エリア）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。（➜ P.86）
［音声切替］	音声が切り替わります。（放送番組によります）
［字幕切替］	字幕が切り替わります。（放送番組によります）
［非表示］	操作ボタンが消えます。
［1］～［12］（プリセットボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
⏮ / ⏭	前 / 次にプリセットされている放送局を選局します。 「サーチ中」が表示されるまでタッチすると、受信可能な放送局を自動的に受信します。（オート選局）もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
［番組リスト］	チャンネルの番組リストを表示します。表示されたリストにタッチすると番組の詳細情報が表示されます。
［プリセット一覧］	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

はじめてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 ［プリセット一覧］にタッチする

3 ［初期スキャン］にタッチする

▼

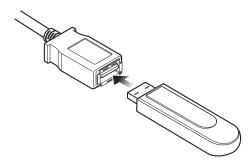
現在地の都道府県にタッチして［はい］にタッチします。

▼

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

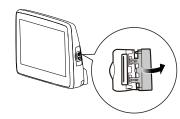
- ［再スキャン］は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

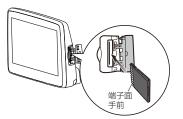
USB 機器を接続する

● 本機で再生できる USB 機器は 159 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外してください。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

1 SD カードのカバーを開く

2 SD カードの端子面を手前にして挿入口に入れる

SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。

3 SD カードのカバーを閉じる

● 本機で再生できる SD カードは 159 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

ソースを SD 以外に切り替えてから、SD カードを取り出してください。
SD ソースのまま取り出すと、SD カード内のデータが破損する場合があります。

1 SD カードのカバーを開いて SD カードを取り出す

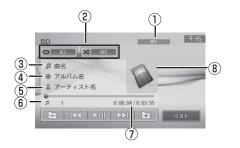
SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

ここまでの手順

ソースを USB または SD に切り替える（➜ P.79）

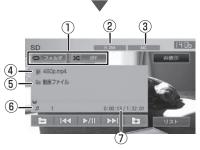
オーディオファイルを再生する

① ファイル形式
② リピート / ランダム再生モード
③ 曲名（ファイル名）
④ アルバム名（フォルダ名）
⑤ アーティスト名
⑥ ファイル番号
⑦ 演奏時間 / 総演奏時間
⑧ アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1： 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF： ランダム再生モードを解除します。 フォルダ： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▷/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ビデオファイルを再生する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① リピート / ランダム再生モード
② 映像形式
③ 音声形式
④ ファイル名
⑤ フォルダ名
⑥ ファイル番号
⑦ 再生時間 / 総再生時間

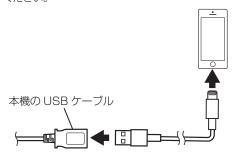
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL： すべてのファイルをくり返し再生します。 1： 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF： ランダム再生モードを解除します。 フォルダ： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▷/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
[非表示]	操作ボタンを消します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

iPod を再生する

iPod を接続する

iPod を接続します。iPod の接続には iPod 接続ケーブルが必要です。
iPod 接続ケーブルについては 162 ページをご覧ください。

iPod を取り外す

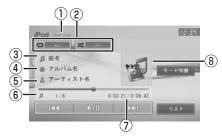
ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

曲を再生する

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替える（➜ P.79）

① iPod モード表示
② リピート / シャッフル再生モード
③ 曲名
④ アルバム名
⑤ アーティスト名
⑥ 曲番号 / 全曲数
⑦ 再生時間 / 総再生時間
⑧ アルバムアート画像

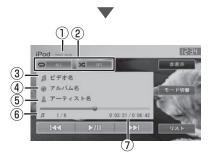
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL： リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 1： 再生中の曲をくり返し再生します。
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF： シャッフル再生モードを解除します。 曲： リスト内の曲をシャッフル再生します。 アルバム順： アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は順番どおりに再生します。
[モード切替]	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode： 本機で iPod の再生操作ができます。 Hand mode： iPod で再生操作ができます。 External mode： iPhone アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。 （➜ P.93）
⏮ / ⏭	前 / 次の曲を選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。

ビデオを再生する

iPod ビデオを再生するときは、リストから選んでください。(➜ P.93)

- ビデオの再生中に本機の電源をオフにしてオンにすると、再生していたビデオは再生されません。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① iPod モード表示
② リピート / シャッフル再生モード
③ ビデオ名
④ アルバム名
⑤ アーティスト名
⑥ ファイル番号 / 全ファイル数
⑦ 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
(ALL)	リピート再生モードが切り替わります。 ALL： リスト内のすべてのビデオをくり返し再生します。 1： 再生中のビデオをくり返し再生します。
(OFF)	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF： シャッフル再生モードを解除します。 曲： リスト内のビデオをシャッフル再生します。 アルバム順： アルバムをシャッフル再生します。アルバム内のビデオは順番どおりに再生します。
［モード切替］	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode： 本機でiPodの再生操作ができます。 Hand mode： iPod で再生操作ができます。 External mode： iPhone アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
［リスト］	再生リストを表示します。 (➜ P.93)
⏮ / ⏭	前 / 次のビデオを選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▷/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
［非表示］	操作ボタンを消します。

リストから曲またはビデオを選択する

iPod 本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機から選択できます。

1 ［リスト］にタッチする

2 (♫ □) にタッチしてリスト（ビデオまたはミュージック）を選ぶ

3 再生するカテゴリー、曲またはビデオにタッチする

［トップ］：
一番上の層のリストに移動します。

［一つ上］：
一つ上の層のリストに移動します。

▷：
該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。

- 手順 2 以降で表示されるカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。

外部機器（AV-IN）の音声を聴く / 映像を見る

画面の見かたと操作

本機に接続した外部機器の音楽や映像を視聴します。

ソースを AV-IN1 または AV-IN2 に切り替える
（➜ P.79）

画面にタッチするとソース名と [非表示] ボタンが表示されます。

▼

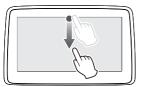
ソース名と [非表示] ボタンは一定の時間がすぎると消えます。[非表示] にタッチしても消すことができます。

- 本機に別売の地上デジタルテレビチューナーを接続したときは AV-IN1 が DTV ソースになります。（➜ P.148）
- 本機に別売の CD プレーヤー、DVD プレーヤーを接続したときは、AV-IN2 が DISC ソースになります。（➜ P.144）

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

情報・設定画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

情報・設定画面が表示されます。

VICS：
FM VICS 情報や、ビーコン VICS 情報を表示します。(➜ P.96)

接続：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。
(➜ P.120)

バージョン：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(➜ P.121)

ETC
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(➜ P.138)

ECO：
車のエコドライブ情報を表示します。
(➜ P.104)

ナビ
ナビゲーションに関する設定を行います。
(➜ P.106)

サウンド
サウンドに関する設定を行います。
(➜ P.110)

Bluetooth
Bluetooth に関する設定を行います。
(➜ P.126)

システム
システムに関する設定を行います。
(➜ P.116)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）、電波ビーコン（2.4GHz）、光ビーコンと ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。

- 電波ビーコン（2.4GHz）/ 光ビーコンで送られる VICS 情報を受信するには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）が必要です。
- ITS スポットから情報を取得するには、DSRC 車載器（別売）が必要です。

VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■ FM 多重放送

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

■ 電波ビーコン (2.4GHz)

- 電波ビーコンの発信器は主に高速道路に設置されています。
- 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 以下の場合は受信が困難になります。
  -- 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くない
  -- ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがある
  -- 法定速度以上で走行している
- 低速で走行中は、反対車線の電波ビーコンを受信してしまうことがあります。

■ 光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合は受信が困難になることがあります。
  -- 通信エリア外
  -- 雨や雪の影響がある
  -- 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  -- ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  -- アンテナ受光面が汚れている
  -- 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

■ VICS ビーコン（2.4GHz）情報提供について

VICS ビーコン（2.4GHz）情報提供は、新サービスの開始や路側機の老朽化などに伴い、今後、ITS スポットによる情報提供に移行します。
VICS ビーコン（2.4GHz）によって行われていた情報提供は、より広域な情報及び安全運転を支援する情報が加わり、ITS スポットによって情報提供されます。高速道路においてはすでに ITS スポットが全線に設置されており、平成 24 年 4 月以降に開通する高速道路においては、ITS スポットが設置されます。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。

① **駐車場情報**
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

② **渋滞情報**
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害
チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限
イベント	出口制限	火災	凍結
車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行
駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車
	背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き
背景黒色		背景橙色	背景青色
SA・PA 満車	SA・PA 不明	その他の規制	工事
背景赤色	背景黒色		

徐行	速度規制	対面通行	作業

- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICS 情報は設定することができます。(➜ P.102)
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

2 ［詳細］にタッチする

［切替］：

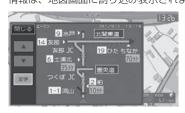
複数の VICS 情報が重なっている場合に表示されます。タッチすると表示する情報が切り替わります。

▼

VICS の詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

受信した簡易図形型(レベル 2)/ 文字型(レベル 1) 情報は、地図画面に割り込み表示されます。

▽ / △ ：

一つ前 / 次の情報に切り替えます。

［図形］／［文字］：

文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。

- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- 文字情報、簡易図形情報が割り込み表示しないように設定できます。
 (➜ P.102)
- 割り込み時間は設定できます。
- 交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。

- VICS 図形情報や文字情報の割り込み表示をオフに設定している場合でも表示されます。
- 緊急情報表示は［戻る］にタッチするまで表示されます。
- 注意警戒情報表示は、約 15 秒経過すると自動的に消えます。

DSRC 割り込み表示

本機に別売の DSRC 車載器を接続している場合に、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。

（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）
音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。
対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - -- 安全運転支援情報
  - -- 緊急メッセージ情報
  - -- 注意警戒情報
- 一般情報
  - -- 電子標識情報
  - -- 多目的情報
  - -- 長文読み上げ情報

▽ ：

表示ページを切り替えます。

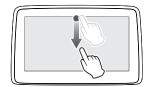
［再生］／［停止］：

音声情報を再生または停止します。

- DSRC 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。
 (➜ P.102)
- 割り込み時間は設定できます。
 (➜ P.102)
- 音声情報を再生中は、設定した割込表示時間をすぎても表示し続けます。
- DSRC 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 ［情報・設定] にタッチする

4 [VICS] にタッチする

つづく➜

5 見たい情報にタッチする

［FM 図形情報］／［FM 文字情報］：
FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

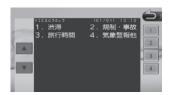
［ビーコン図形情報］／［ビーコン文字情報］：
ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

［DSRC 割り込み情報］：
DSRC 車載器で受信した割り込み情報を表示します。

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

右側の番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

FM 図形情報

FM 文字情報

▽ / △ ：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

ビーコン図形情報

▽ / △ ：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

ビーコン文字情報

▽ / △ ：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

DSRC 割り込み情報

▽ / △ ：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

［再生］／［停止］：
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

- DSRC 割り込み情報は本機対応の DSRC 車載器（別売品）が必要です。

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 情報・設定画面を表示する
（95 ページ）

2 [VICS] にタッチする

3 ［VICS FM 選局モード］にタッチする

4 ［自動］にタッチする

［自動］にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

1 ［自動］にタッチしてチェックを外す

2 ◁ または ▷ にタッチして、受信周波数を設定する

受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

1 情報・設定画面を表示する
(95 ページ)

2 [ナビ] にタッチする

3 「VICS」の設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	―	VICS 情報の表示内容について設定します。
図形情報の割り込み表示	ON*/OFF	ビーコンで受信した簡易図形型（レベル 2）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
文字情報の割り込み表示	ON*/OFF	ビーコンで受信した文字型（レベル 1）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	ビーコンまたは DSRC 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
DSRC 優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	DSRC 車載器で受信した優先情報割り込み表示オン / オフを設定します。
DSRC 一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	DSRC 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
DSRC アップリンク	ON*/OFF	DSRC アップリンク機能のオン / オフを設定します。(➜ P.140)

* : お買い上げ時の設定です。

- 「図形情報の割り込み表示」、「文字情報の割り込み表示」、「割り込み表示の時間」の設定は、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）が接続されているときに設定できます。
- 「割り込み表示の時間」設定は、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売）または本機対応の DSRC 車載器 (別売品) が接続されているときに設定できます。
- DSRC に関する項目は本機対応の DSRC 車載器（別売品）接続しているときのみ設定できます。

地図上の VICS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 情報・設定画面を表示する
(95 ページ)

2 [ナビ] にタッチする

3 「VICS」の［VICS 情報表示］にタッチする

4 表示する項目にタッチする

表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。

- [表示オフ] にタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [ECO] にタッチする

5

◁ / ▷ :
現在表示されている情報の 1 日前 /1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ] :
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート**:
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速**:
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速**:
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度**:
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて

ECO 情報画面で［ECO レシオ］にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。

◀ / ▶ :
グラフ表示を 1 日分スクロールします。

[ECO 判定モード] :
ECO 度の判定のモード(ソフト / ノーマル / ハード）を設定します。
ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています）

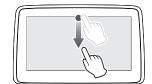
[ECO データ消去] :
過去の ECO データを消去します。
確認のメッセージで［はい］にタッチすると、ECO データが削除されます。

- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

はじめに
基本操作
ナビゲーション
オーディオ・ビジュアル
情報・設定
Bluetooth
オプション
付録

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [ナビ] にタッチする

- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。
- ぬけみちは、300m 未満のスケールで紫色で表示されます。市街地図では表示されません。
- 最適時間を考慮した探索をするには、VICS ビーコンユニット (C9K2 V6 620 別売)または別売の DSRC 車載器が必要です。
- 「ETC 料金の表示」は、別売の ETC 車載器または別売の DSRC 車載器が接続されている場合に設定できます。

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色：1*/2 文字サイズ：小 / 中 */ 大 地図色昼夜切替：昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動 *	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(➜ P.108)
ランドマーク表示	–	地図に表示するランドマークを設定します。(➜ P.109)
登録地点表示	–	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーにタッチします。 もう一度タッチすると選択を解除します。 [表示オフ] にタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	*/ /	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	ON*/OFF	ぬけみちを表示するかどうかを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➜ P.109)
走行軌跡を消去	–	記憶されている走行軌跡を消去します。(➜ P.109)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ /3D ビュー *	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ /3D ビュー *	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
100m 縮尺での市街地図表示	ON*/OFF	100m 縮尺で市街地図を表示するかどうかを設定します。OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。

● 案内

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 〜 10* 〜 20	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内と VICS 情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON： ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(➜ P.45)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(➜ P.45)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(➜ P.66)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➜ P.66)
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(➜ P.67)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨 *、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(➜ P.61)
道幅の広い道路を優先した探索	ON/OFF*	ルート探索時の探索条件を " 推奨 " にしたときに道幅の広い道路を優先するかどうかを設定します。
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*	スマート IC を利用した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。
最適時間を考慮した探索	ON*/OFF	最適時間を考慮した探索を行うかどうかを設定します。

- **スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。**

● VICS/DSRC

VICS/DSRC 設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(➜ P.102) をご覧ください。
別売の DSRC 車載器を接続していない場合は「VICS」になります。

● その他

項目	説明
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(➜ P.108)
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。(➜ P.122)

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の[地図色 / 文字サイズ]にタッチする

2 設定したい項目にタッチする

地図色：
地図の表示色を設定します。
文字サイズ：
小、中、大から文字サイズを設定します。
地図色昼夜切替：
- [自動]：
  車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
- [昼色に固定]：
  常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- [夜色に固定]：
  常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 「その他」の［現在地修正］にタッチする

地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）

3 ［向きを修正］にタッチする

4 または にタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）

5 ［決定］にタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
- 手順5で［決定］にタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- 手順5で［決定］にタッチする前に［戻る］にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定に戻ります。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の［走行軌跡の表示］にタッチする

[ON]：
走行軌跡を表示します。
[OFF]：
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の［走行軌跡を消去］にタッチして、［はい］にタッチする

- 走行軌跡は、現在地より過去 100km の軌跡が保存されています。100km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、200m 以下のスケールで表示されます。

1 「地図」の［ランドマーク表示］にタッチする

2 設定するパターンにタッチする

3 表示するランドマークのジャンルにタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。
さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

表示させたいパターン（1 ～ 3）にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

サウンドの設定をする

音響効果や音質、オーディオ効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（STANDBY）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中や発信、着信中はサウンドの設定はできません。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [サウンド] にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
リスニングポジション		リスニングポジションを設定します。（➜ P.113）
イコライザー	–	音質を設定します。（➜ P.114）
バランス / フェーダー	–	◁ または ▷ にタッチして左右のバランスを、△ または ▽ にタッチして前後のバランスを調整します。 ［センターに戻す］： 左右 / 前後ともに中央になります。
バスブースト	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	低音を増強するレベルを設定します。
スペースエンハンサー	OFF*/ SMALL/ MEDIUM/ LARGE	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。 ソースが”TUNER”のときは設定できません。
ラウドネス	OFF*/ LOW/ HIGH	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。
Drive Equalizer +	ON*/OFF	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
サウンドライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。
リアライザー	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サプリーム	ON/OFF*	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
車両タイプ	–	［車種］設定を［選択しない：(車両ナンバーの分類番号)］に設定したときに、この項目が表示されます。（➜ P.18）
スピーカー	–	スピーカーの構成を設定します。（➜ P.111）
ソースレベル	–	各 AV ソースの音量をそろえます。（➜ P.115）

スピーカー構成を設定する

車両のスピーカー構成を設定します。

1 ［スピーカー］にタッチする

2 設定するスピーカーにタッチする

3 各項目にタッチして設定する

［スピーカー位置］：
スピーカーの位置を設定します。

［スピーカー口径］：
スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

［ツイーター口径］：
ツイーターの口径を設定します。（フロントスピーカーのみ）

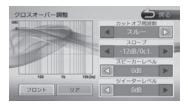
- リアスピーカーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は、それぞれのクロスオーバーは調整できません。

スピーカーのクロスオーバー周波数を変更する

フロント / リアスピーカーのクロスオーバー周波数とスロープ（減衰率）を設定します。

1 スピーカー設定画面で、［クロスオーバー調整］にタッチする

2 クロスオーバー周波数を変更するスピーカーにタッチする

3 ◁ または ▷ にタッチして、各項目を設定する

［カットオフ周波数］：
カットする周波数の値を設定します。
“スルー” にすると、機能がオフになります。

［スロープ］：
カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率を設定します。
1 オクターブ（oct）あたりの減衰率を dB で設定します。

［スピーカーレベル］：
スピーカーレベルを設定します。

［ツイーターレベル］：
ツイーターレベルを設定します。
スピーカー設定（➜ P.111）でフロントスピーカーにツイーターの口径が設定されている場合のみ設定できます。

- カットオフ周波数は、指定した周波数よりも低い成分をカットする周波数です。この機能により、低域成分が出力されないようにできます。
- 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろうように調整します。

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。
リスニングポジションを選択すると、最適な DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。DTA の値は微調整することもできます。

- ここでの設定を行う前に、車種を設定してください。（➜ P.18）
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 ［リスニングポジション］にタッチする

2 設定するリスニングポジションにタッチする

選択したリスニングポジションに合った DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。DTA 値は微調整することもできます。

- リアスピーカーのスピーカー口径が“なし”に設定されている場合は、当該スピーカーの DTA は調整できません。（➜ P.111）

リスニングポジションの DTA を微調整する

実際のリスニングポジションに合わせて、DTA を微調整します。

1 リスニングポジション画面で［ポジション調整］にタッチする

2 調整するスピーカーにタッチする

3 「距離（ディレイ）」または「レベル」の ◁ または ▷ にタッチして調整する

［距離（ディレイ）］：
お使いの車で実際に測った距離を設定します。リスニングポジションを「全ての座席」または「フロント両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

［レベル］：
実際に音を聴きながら調整します。

［初期値に戻す］：
設定した値を初期設定に戻します。

4 手順 2 と 3 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定する

プリセットイコライザーを設定する

プリセットイコライザーをソースごとに設定します。プリセットイコライザーのカーブを変更したり、ユーザー独自のイコライザーカーブを設定することもできます。

- プリセットイコライザーを設定する前に、設定したいソースを選んでください。

1 ［イコライザー］にタッチする

2 設定するプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする

ユーザーイコライザーを設定する

プリセットイコライザーのカーブの変更や、ユーザー独自のイコライザーカーブを設定できます。

1 プリセットイコライザー調整画面で、［イコライザー調整］にタッチする

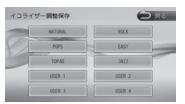
2 設定したいイコライザーカーブを画面でなぞる

調整する周波数を選んでタッチし、△ または ▽ にタッチしてレベルを設定することもできます。

［初期値に戻す］：
イコライザーの調整値を初期設定に戻します。

3 ［保存］にタッチする

保存するプリセットイコライザーが表示されます。

4 保存先にタッチする

選択したプリセットイコライザーの設定値が変更されます。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 ［ソースレベル］にタッチする

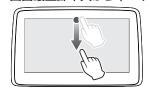
2 ＋ または － にタッチして、音量を調整する

［初期値に戻す］：
ソースの音量レベルを初期設定に戻します。

- 別売の地上デジタルテレビチューナーを接続しているときは､｢AV-IN1｣が｢DTV｣になります。「1Seg」は表示されなくなります。
- 別売の CD プレーヤーまたは CD/DVD プレーヤーを接続しているときは、「AV-IN2」が「DISC」になります。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [システム] にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
＊：お買い上げ時の設定です。

● 音量

項目	設定	説明
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる */ 消音	案内音声出力時の AV ソースの音量を設定します。
リバース時の AV 音量ダウン	ON*/OFF	バックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
MUTE 設定	消音 */ 下げる	ステアリングリモコンの "MUTE" キーを押したときまたはバックモニターカメラ映像に切り替わったときに、AV ソースの音量を消音するか、音量を一定量下げるかを設定します。
スターターボリューム	動作しない */ 更新間隔 : 速 / 更新間隔 : 中 / 更新間隔 : 遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示

項目	設定	説明
画面の明るさ	イルミ OFF : -5 ～ +5* イルミ ON : -5 ～ +1* ～ +5	画面の明るさを調整します。「イルミ OFF」は車両のライトスイッチがオフのときに、「イルミ ON」はライトスイッチがオンのときに調整してください。
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中と画面オフ時に時計を表示するかどうかを設定します。画面オフ中 / 映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
車種	車種の設定については 18 ページをご覧ください。	
バックカメラ接続	ON/OFF*	バックモニターカメラを接続している時は「ON」に設定します。（➜ P.141）
バックカメラ調整	–	バックモニターカメラのガイド線を調整します。（➜ P.143）

● その他

項目	設定	説明
LANGUAGE	日本語 */ English/ 韓国語 / 簡体中文 / 繁体中文	表示言語と案内音声を切り替えることができます。（➜ P.118）
操作音の出力	ON*/OFF	操作音の出力をするかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	–	マイメニューのショートカットボタンに機能を割り当てます。（➜ P.21）
暗証番号登録	–	本機の起動のための暗証番号を設定します。（➜ P.119）
暗証番号解除	–	設定した暗証番号を解除します。（➜ P.119）
暗証番号変更	–	設定した暗証番号を変更します。（➜ P.119）
オープンソースライセンス	–	ライセンスを表示します。
SD カード初期化	–	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。
設定データの書き出し	–	設定を SD カードに保存します。（➜ P.118）
設定データの読み込み	–	書き出した設定データを本機に読み込みます。（➜ P.118）
システムの初期化	–	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
暗証番号は、設定を初期化しても削除されません。

1 「その他」の［システムの初期化］にタッチして、［はい］にタッチする

設定を SD カードに保存する

本機の設定を SD カードに保存（書き出し）することができます。
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できない項目です。

- センサーの学習データ
- 暗証番号

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ
- ECO データ
- 目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth 機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴
- ナビのデバイス名 (Bluetooth)
- PIN コード (Bluetooth)

1 「その他」の［設定データの書き出し］にタッチして、［はい］にタッチする

SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

1 「その他」の［設定データの読み込み］にタッチして、［はい］にタッチする

読み込みが終了すると自動で再起動します。

表示言語 / 音声を切り替える

1 「その他」の［LANGUAGE］にタッチする

2 設定したい言語にタッチする

- 地図に表示される地名や施設名などは言語を切り替えても日本語で表示します。
- 案内音声もそれぞれの言語に切り替わります。 中国語（簡体）または中国語（繁体）を選んだときは、普通話（マンダリン）案内します。
- ［ ナビデータ消去］にタッチすると登録地点情報や案内中のルートなどのデータが消去されます。

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- 暗証番号記入欄

1 情報・設定画面を表示する
（95 ページ）

2 ［システム］にタッチする

3 「その他」の［暗証番号登録］にタッチする

4 設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を変更する

1 「その他」の［暗証番号変更］にタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

3 新しく設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を解除する

1 「その他」の［暗証番号解除］にタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

現在の暗証番号が解除されます。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 情報・設定画面を表示する
(95 ページ)

2 [接続] にタッチする

接続情報が表示されます。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
リバース	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキング	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
ビーコンユニット	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）の接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。

項目	説明
ETC 車載器または DSRC 車載器	ETC 車載器（別売）または DSRC 車載器（別売）の接続状態を表示します。 ETC 車載器（別売）: 「接続中」と表示されます。 DSRC 車載器（別売）: 「接続中」または 「接続中＋光」(DSRC 車載器（別売）が光ビーコンに対応しているときに表示します。)
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
CAN-LIN BOX	コマンダー： コマンダー装着車は表示されます。 DTV: 別売の地上デジタルテレビチューナーを接続しているときに表示されます。 CD または CD/DVD： 別売の CD プレーヤーまたは CD/DVD プレーヤーを接続しているときに表示されます。

■ **センサーの学習について**

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。
センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。

- センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 情報・設定画面を表示する
(95 ページ)

2 [バージョン] にタッチする

バージョン情報が表示されます。

本機の最新情報について

本機をより便利に使っていただくために、ファームウェアのバージョンアップ情報や取扱説明書などを下記ホームページに掲載しています。
http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/
お使いの型名をクリックすると情報が表示されます。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/ をご覧ください。

地図を更新する

本機は MapFan に会員登録すると、地図データを３年間で１回無料で更新できます。

無償更新サービスは 2016 年 3 月～ 2019 年 2 月までを予定しています。

- 地図データの更新にはパソコン通信環境と SDHC カード（8 GB 以上）が別途必要です。

MapFan に登録する

MapFan の登録は Mapfan の WEB サイトから行います。登録には本機のモデル名とシリアル番号（製造番号）が必要になります。事前にご確認ください。
すでに「MapFan」に登録済みの方は、「カーナビ情報を登録する」（➜ P.123）からカーナビ情報を登録してください。

モデル名とシリアル番号（製造番号）を確認する

1 情報・設定画面を表示する
(95 ページ)

2 ［ナビ］にタッチする

3 「その他」の［地図更新プログラム］にタッチする

▼

モデル名とシリアル番号（製造番号）をご確認ください。

会員登録をする

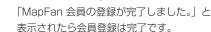
1 MapFan サイトにアクセスする
http://www.mapfan.com/mzd/

2 Step1 MapFan 会員登録のご登録の「新規会員登録（無料）」をクリックする

3 必要な情報を入力する
ここで指定したメールアドレスに、次の手順で必要になる確認メールが送られます。

4 確認メールに記載された URL にアクセスする

5 メールサービスを選択する

「MapFan 会員の登録が完了しました。」と表示されたら会員登録は完了です。

- MapFan の会員登録は地図更新が可能になったときに行ってください。
- 登録した MapFan 会員 ID とパスワードは、忘れないようメモして保管してください。

カーナビ情報を登録する

1 MapFan サイトにアクセスする
http://www.mapfan.com/mzd/

2 Step2 カーナビ情報のご登録の「カーナビ情報登録 / ダウンロード ID の確認」をクリックする

3 MapFan の会員 ID とパスワードを入力する

4 カーナビ情報を入力する
カーナビメーカーは「マツダ車ナビ」を選択してください。
モデル名（商品名）、シリアル番号（製造番号）は「モデル名とシリアル番号（製造番号）を確認する」（➜ P.122）で確認した内容を入力してください。

最初の地図更新は 2016 年 3 月を予定しています。地図更新が可能になりましたら http://www.mapfan.com/mzd/ にてお知らせします。

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 接続中アイコン

ハンズフリー通話の画面や Bluetooth オーディオ画面には、Bluetooth 機器の電波の受信状態やバッテリー残量が表示されます。

バッテリー残量

電波の受信状態

- Bluetooth 機器は 5 台まで登録できます。
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、163 ページをご覧ください。
- 本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに、本機で他の Bluetooth 機器を接続しているときは、接続を解除してから行ってください。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。
本機は Bluetooth Ver.2.1+EDR のセキュアシンプルペアリングに対応しています。

- iPhone/iPod touch を登録する場合は、126 ページをご覧ください。
- 手順 2 で Bluetooth 機器から本機を選ぶときの名前を変えることができます。（➜ P.129）

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で “CarNavigation” を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

Bluetooth 機器側で PIN コードまたは入力画面が表示された場合

125 ページの「A」に進みます。

パスキーまたは PIN コードを確認する画面が表示された場合

125 ページの「B」に進みます。

A 表示された本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する

初期設定は “0000” に設定されています。

Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。

その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（➜ P.126）

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

● A2DP
「Bluetooth について」をご覧ください。（➜ P.163）

B デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする

Bluetooth 機器の登録がはじまります。Bluetooth 機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。（➜ P.127）

- iOS4 以下には対応していません。124 ページの登録方法で登録してください。
- iOS5 以上でも登録ができない場合は 124 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する

接続方法は 90 ページをご覧ください。
本機に次の画面が表示されます。

3 デバイス名とパスキーを確認し、［はい］にタッチする

▼

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

［はい］：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

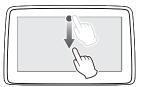
［いいえ］：
ハンズフリー接続のみとなります。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- オートペアリング機能をオフにして本機に登録する場合は、124 ページの手順 1 から行ってください。

Bluetooth の設定をする

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 ［HOME］にタッチする

3 ［情報・設定 ］にタッチする

4 ［Bluetooth］にタッチする

Bluetooth 画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。
（*：お買い上げ時の設定です。）

項目	設定	説明
デバイス接続	–	本機に Bluetooth 機器を接続します。（➜ P.127）
PIN コード	–	現在の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。（➜ P.129）
ナビのデバイス名	–	本機のデバイス名を変更します。（➜ P.129）
ナビのデバイスアドレス	–	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
自動接続	ON*/OFF	本機の電源がオンになったときに、前回接続した Bluetooth 機器と自動的に接続します。
着信の自動応答	ON/OFF*	着信時に、自動的に通話可能になります。［OFF］：ユーザーが（アイコン）にタッチするまで通話できません。

登録した機器を接続 / 解除する

Bluetooth 機器を接続する

1 Bluetooth 設定画面を表示する（左記の手順 1 ～ 4）

2 ［デバイス接続］にタッチする

3 接続する Bluetooth 機器にタッチする

4 接続する種別にタッチする

ハンズフリー：
ハンズフリー電話を使用します。

BT Audio/ アプリケーション連携
BT AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを Bluetooth 接続で使用します。

接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

▮：ハンズフリー接続
♫：BT Audio/ アプリケーション連携接続

- Bluetooth 機器を複数登録している場合、ハンズフリー接続と BT Audio/ アプリケーション連携接続はそれぞれ一台まで設定できます。接続する機器を切り替えたい場合は接続したい機器の接続種別を選び直してください。

Bluetooth 機器の接続を解除する

1 「Bluetooth 機器を接続する」（127 ページ）の手順 3 で解除したい Bluetooth 機器にタッチする

2 チェックマークにタッチする

チェックマークがすべて外れていれば、接続を解除することになります。

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 Bluetooth 設定画面を表示する（126 ページの手順 1 ～ 4）

2 ［デバイス接続］にタッチする

3 ［削除］にタッチする

4 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての機器を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

5 ［はい］にタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する（126 ページの手順 1 ～ 4）

2 ［PIN コード］にタッチする

3 PIN コードを入力して［決定］にタッチする

PIN コードが変更されます。

［BS］：
カーソルの前にある文字を消去します。

・ 入力できる PIN コードは 4 桁です。

本機のデバイス名を変更する

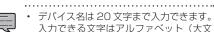
本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する（126 ページの手順 1 ～ 4）

2 ［ナビのデバイス名］にタッチする

3 デバイス名を入力して［決定］にタッチする

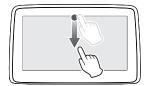
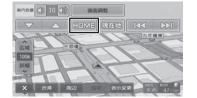
デバイス名が変更されます。

［小文字］：
アルファベットの小文字を入力できます。

・ デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット（大文字、小文字）と数字のみです。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話画面を表示する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 ［電話］にタッチする

▼

電話画面が表示されます。

電話画面の見かたと操作

① 電波受信状態
接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。

② バッテリー残量
接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。

③ ［10 キー］
電話番号を入力します。(➜ P.136)

④ ［接続切替］
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。(➜ P.127)

⑤ ［編集］
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。(➜ P.132)

⑥ プリセットダイヤル
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。(➜ P.131)

⑦ ［履歴］
発信、着信、不在着信履歴から発信したり、履歴を削除することができます。(➜ P.133)

⑧ ［電話帳］
電話帳を表示します。(➜ P.134)

・ Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 （通話ボタン）にタッチする

（通話終了）：
着信を拒否します。

▼

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

・ [閉じる] にタッチすると着信画面を消すことができます。
もう一度表示させるには画面右上に [着信中] または [通話中] ボタンが表示されているときにタッチすると表示されます。

2 通話が終わったら、（通話終了ボタン）にタッチする

関連キーワード

● 着信の自動応答
着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。(➜ P.127)

● 通話音量
ハンズフリー通話時の受話音量は、AV の音量と独立して調整できます。(➜ P.18)

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(➜ P.132)

1 電話画面を表示する
（130 ページの手順 1 ～ 3）

2 発信するダイヤルにタッチする

▼

選択した電話番号に発信されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 ［編集］にタッチする

2 登録するプリセットにタッチする

3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する

［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10 キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］にタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 ［編集］にタッチする

2 ■ **全て削除する場合**

［全て削除］にタッチする

［はい］にタッチする

全てのプリセットダイヤルが削除されます。

■ **選んで削除する場合**

削除したいプリセットにタッチする

▼

［削除］にタッチする

［はい］にタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

発信、着信、不在着信履歴から電話をかけます。また、履歴を削除することもできます。

1 電話画面を表示する

（130 ページの手順 1 ～ 3）

2 ［履歴］にタッチする

2 ［不在着信］／［着信］／［発信］のいずれかにタッチする

3 発信する履歴にタッチして、［はい］にタッチする

：

PBAP 対応の機器は、機器の履歴と本機の履歴を切り替えることができます。

▼

選択した電話番号に発信されます。

PBAP 対応機器の履歴について

PBAP 対応機器の履歴は本機とハンズフリー接続を開始してから約 90 秒後に自動で本機に読み込まれます。

- 履歴読み込み中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。

本機の履歴を削除する

本機に登録されている発信、着信、不在着信履歴を削除します。

1 削除したい履歴画面を表示して ［アイコン］にタッチして「履歴：ナビ」にする

2 ［削除］にタッチする

3 削除する履歴にタッチし、［削除］にタッチする

［全て選択］：
すべての履歴を選択します。

［全て解除］：
すべての選択を解除します。

4 ［はい］にタッチする

選択した履歴が削除されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 ［電話帳］にタッチする

2 発信する相手にタッチして、［はい］にタッチする

：

PBAP 対応の機器は、機器の電話帳と本機の電話帳を切り替えることができます。

▼

選択した電話番号に発信されます。

PBAP 対応機器の電話帳について

PBAP 対応機器の電話帳は本機とハンズフリー接続を開始してから約 90 秒後に自動で本機に読み込まれます。（最大 5000 件）

- 電話帳読み込み中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。

OPP 対応機器の電話帳を登録 / 削除する

OPP 対応の携帯電話またはスマートフォンの電話帳から、本機に電話帳データを登録します。（最大 500 件）
本機に登録した電話帳は削除することもできます。

■ 電話帳を登録する

1 ［電話帳］にタッチして電話帳を表示する

2 にタッチして「電話帳：ナビ」にする

3 ［登録］にタッチする

4 携帯電話またはスマートフォンを操作して、本機に登録する電話帳データを送信する

電話帳の送信方法は、お使いの携帯電話またはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

5 送信が終了したら、［閉じる］にタッチする

- 電話帳登録中はカーナビ連携スマホアプリケーションは切断されます。
- 登録中は電話の発着信はできません。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

■ 電話帳を削除する

1 ［電話帳］にタッチして電話帳を表示する

2 にタッチして「電話帳：ナビ」にする

3 ［削除］にタッチする

4 削除する電話番号を選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
すべての電話番号を選択します。

［全て解除］：
すべての選択を解除します。

5 ［はい］にタッチする

選択した電話番号が削除されます。

関連キーワード

● PBAP/OPP
「Bluetooth について」をご覧ください。
（➜ P.163）

ダイヤルして電話をかける

1 ［10 キー］にタッチする

2 電話番号を入力して、 にタッチする

3 ［はい］にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 地点の詳細情報画面を表示する（➜ P.49）

1 にタッチして、［はい］にタッチする

電話が発信されます。

- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを BT AUDIO に切り替える（➜ P.79）

① リピート / ランダム再生モード
② 曲名
③ アルバム名
④ アーティスト名
⑤ 再生時間 / 総再生時間
⑥ バッテリー残量
⑦ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［デバイス切替］	接続する Bluetooth 機器を切り替えます。（➜ P.127）
▷	再生します。
‖	一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
［リスト］	再生リストを表示します。
ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。

関連キーワード

● 本機への登録（ペアリング）
Bluetooth 機器の登録や接続については「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。（➜ P.124）

● 対応プロファイル
「Bluetooth について」をご覧ください。（➜ P.163）

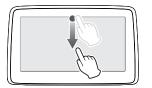
ETC 車載器を使う

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- 本機で ETC 機能をご使用になる場合は、別売の ETC 車載器または DSRC 車載器が必要です。

料金表示を設定する

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 ［ナビ］にタッチする

5 「案内」の［ETC 料金の表示］にタッチする

［ON］：
ETC 料金を表示します。

［OFF］：
ETC 料金を表示しません。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 情報・設定画面を表示する
（138 ページの手順 1 ～ 3）

2 ［ETC］にタッチする

［車載器情報］：
車載器の情報を表示します。

- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

ETC2.0（DSRC）対応車載器を使う

別売の ETC2.0(DSRC) 対応車載器 (以降 DSRC 車載器) を本機に接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報提供を受けることができます。

- ETC 車載器と DSRC 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。

DSRC 通信とは

DSRC（Dedicated Short Range Communication）通信とは、狭い範囲を対象に 5.8GHz 帯を利用した高速で大容量の双方向通信が行える通信方式です。
高速道路本線上を中心に設置された ITS スポットと DSRC 車載器間での双方向通信により、ETC 機能に加えて、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。
利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

DSRC アップリンクとは

DSRC アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。アップリンクはしないように設定することができます。(➜ P.102)

アップリンクについては DSRC 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。(➜ P.97)
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。(➜ P.99)
  対応している情報の種類は、次のとおりです。
  優先情報
  - 安全運転支援情報
  - 緊急メッセージ情報
  - 注意警戒情報
  一般情報
  - 電子標識情報
  - 多目的情報
  - 長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。(➜ P.62)
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(➜ P.62)

ETC 機能を使う

ETC 車載器と同じように、ETC の連動機能を使用することができます。(➜ P.138)

- ETC 機能についての音声案内 (料金案内、有効期限など) は、本機から出力されます。

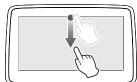
バックモニターカメラを使う

本機は、別売のバックモニターカメラを接続することができます。

説明で使用している画面はイメージです。本機で実際に表示したカメラ映像とは異なります。

バックモニターカメラを設定する

バックモニターカメラの設定は、バックモニターカメラを接続するときに設定してください。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [情報・設定] にタッチする

4 [システム] にタッチする

5 「車両」の [バックカメラ接続] にタッチする

[ON]：
バックモニターカメラを接続します。

[OFF]：
バックモニターカメラを接続しません。

バックモニターカメラの映像を表示する

本機に接続したバックモニターカメラの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**
- **バックカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**
- **バックモニター映像が表示されたときに、安全確認の警告文（車両周辺の安全を直接確認してください）、ガイド線などを表示しますが、本機の電源をオンにしてから約 15 秒間は表示できません。**

1 シフトレバーを"R"（リバース）にする

▼

バックモニターカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーを"R"（リバース）以外にするとバックモニターカメラの表示は解除されます。

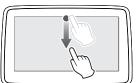
バックモニターカメラ操作ボタンを使う

バックモニターカメラ映像にタッチすると、バックモニターカメラ操作ボタンが表示されます。

[非表示]：
バックモニターカメラ操作ボタンを消します。

[ガイド線]：
バックモニターカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

[戻る]：
バックモニターカメラの映像を表示する前の画面に戻ります。
[戻る] にタッチした後で、シフトレバーが"R"（リバース）に入ったままであれば、再度カメラ映像を表示することができます。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [バックカメラ] にタッチする

バックモニターカメラの映像が再度表示されます。

バックモニターカメラのガイド線を調整する

バックモニターカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。

1 「車両」の [バックカメラ調整] にタッチする

2 ◁ または ▷ にタッチして、調整するカーソル（⊕）を選択する

カメラの映像が表示されないときは、パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを"R"（リバース）に入れてください。

3 ← / → / ↓ / ↑ にタッチして、ガイド線の位置を調整する

[初期状態]：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

本機は別売の CD プレーヤーまたは CD/DVD プレーヤーを接続することができます。接続するとソース切替画面の AV-IN2 ソースが「DISC」ソースになります。
CD/DVD プレーヤーを接続した場合は 146 ページの「DVD を再生する」もご覧ください。

再生できるディスクとファイル

ディスク	ファイル
音楽 CD	―
CD-ROM	MP3/WMA/AAC
CD-R	
CD-RW	

- 再生できるディスクとファイルの詳細は車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

ソースを DISC にする

ディスクを挿入したときは、自動で「DISC」に切り替わります。
ディスクが挿入されていて別のソースから切り替える場合は次の手順で操作してください。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

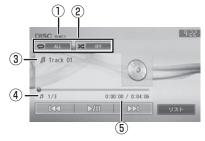
3 [ソース切替] にタッチする

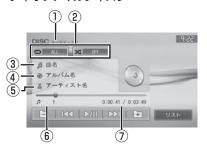
4 [DISC] にタッチする

●コマンダーでの操作は 27 ページをご覧ください。

画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

音楽 CD

① ディスクの種類
② リピート / ランダム再生モード
③ トラック番号
④ トラック番号 / 総曲数
⑤ 演奏時間 / 総演奏時間

オーディオファイルディスク

① ディスクの種類
② リピート / ランダム再生モード
③ 曲名またはファイル名
④ アルバム名またはフォルダ名
⑤ アーティスト名
⑥ ファイル番号
⑦ 演奏時間 / 総演奏時間

- 曲名、アルバム名、アーティスト名はタグ情報があるときに表示されます。タグ情報がない場合はファイル名、フォルダ名を表示します。
- 別売の CD プレーヤーを接続しているときは、タグ情報があってもファイル名とフォルダ名を表示します。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL： すべての曲をくり返し再生します。 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF： ランダム再生モードを解除します。 ALL（音楽 CD のみ）： アルバム内の曲をランダム再生します。 フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/ （オーディオファイルディスクのみ表示）	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次の曲を選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。

●コマンダーでの操作は 40 ページをご覧ください。

DVD を再生する

本機は別売の CD/DVD プレーヤーを接続することができます。接続するとソース切替画面の AV-IN2 ソースが「DISC」ソースになります。
ここでは DVD の操作について説明します。
CD についての操作は、144 ページをご覧ください。

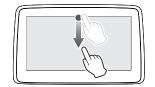
再生できるディスクとファイル

ディスク	ファイル
DVD- ビデオ	―
DVD-R	DVD-Video/ DVD-VR
DVD-RW	
DVD+R	DVD-Video
DVD+RW	

- 再生できるディスクとファイルの詳細は車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

ソースを DISC にする

ディスクを挿入したときは、自動で「DISC」に切り替わります。
ディスクが挿入されていて別のソースから切り替える場合は次の手順で操作してください。

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [ソース切替] にタッチする

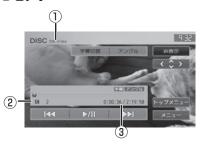
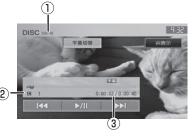
4 [DISC] にタッチする

●コマンダーでの操作は 27 ページをご覧ください。

画面の見かたと操作 (DVD ビデオ /DVD-VR)

DVD を再生します。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

DVD ビデオ

DVD-VR

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① ディスクの種類
② チャプター番号
③ 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［字幕切替］	字幕があるときに字幕の表示 / 非表示を切り替えます。 字幕の言語切り替えは、再生するディスクの設定メニューで設定が必要です。
［アングル］（DVD ビデオのみ表示）	アングルが切り替わります。
［非表示］	操作ボタンを消します。
‹ ⌃⌄ › （DVD ビデオのみ表示）	カーソルを表示します。
［トップメニュー］/［メニュー］（DVD ビデオのみ表示）	ディスクのメニュー / トップメニューを表示します。
|◀◀ / ▶▶|	前 / 次のチャプターを選択します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。

●コマンダーでの操作は 40 ページをご覧ください。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

1 ディスクメニュー表示中に画面にタッチして [表示] にタッチする

2 ‹ ⌃⌄ › にタッチする

3 各ボタンにタッチして操作する

◀ / ▶ / ▼ / ▲ :
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

［決定］:
選択中の項目を実行します。

［非表示］:
操作ボタンを消します。

- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

地デジを視聴する

本機は別売の地上デジタルテレビチューナーを接続することができます。接続するとソース切替画面の 1Seg ソースは表示されなくなり、AV-IN1 が「DTV」ソースになります。

ソースを地デジにする

1 画面最上部中央から下へドラッグする

2 [HOME] にタッチする

3 [ソース切替] にタッチする

4 [DTV] にタッチする

●コマンダーでの操作は 27 ページをご覧ください。

地デジの操作ボタンを表示する

1 画面にタッチするまたはコマンダーをまわす

操作ボタンが表示されます。

地デジの操作については、オーナーズマニュアルをご覧ください。

以下の①～③の操作は本書をご覧ください。

①ソース切替画面を表示します。（左記）

②画質の調整をします。

画面にタッチして②を選んだときは 81 ページをご覧ください。
コマンダーで②を選んだときは 42 ページをご覧ください。

③サウンドの設定をします。（➜ P.110）

・ 画面にメッセージが表示されたときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合

マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて

内蔵の 3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
- ● トンネルの中やビル内の駐車場
- ● 2 層構造の高速道路の下
- ● 高層ビルの群衆地帯
- ● 密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。

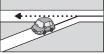
3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

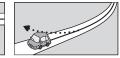
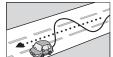
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合

直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

蛇行運転をした場合

勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合

チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

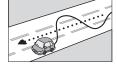
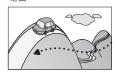
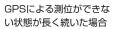
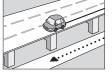
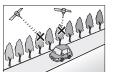
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合

ヘアピンカーブが続いた場合

高速道路と側道などが隣接している場合

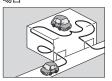
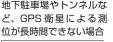
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合

立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合

地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合

ループ橋などを走行した場合

地図データにはない、新設道路を走行した場合

フェリーや車両運搬車などで移動した場合

渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合

碁盤の目状の道路を走行した場合

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来のGPS衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。
(2015年2月現在､準天頂衛星初号機｢みちびき｣が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称
	信号機
	都道府県庁舎
	市特別区庁舎
	町村指定都市区庁舎
	官庁公共施設
	警察
	消防
文	学校
〒	郵便局
	病院
D	デパート/スーパー
	カー用品店
IC	IC
SA	SA
PA	PA
P	パーキング
	工場
	飛行場
	フェリー
	港
¥	料金所
	マリーナ
	史跡名勝
	城跡
	神社
卍	寺院
	教会
	海水浴場
	ゴルフ場

記号	名称
	スキー
	キャンプ
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	スポーツ施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館
	図書館
	テーマパーク
	城・天守閣
	展望タワー
♨	温泉
▲	山頂
	自衛隊
	墓地
	ボウリング場
	サッカー
	競馬場ウィンズ
大	大学
短大	短大
高専	高専
高校	高校
中	中学校
小	小学校

記号	名称
文	その他学校
	保健所
■	税務署
	発電所
■	裁判所
	灯台
	ホール
IC	スマートIC
■	その他の目的物
	NTT
	サーキット
	テニスコート
	ディスカウントストア
M	ビルアパート名称
	道の駅
	ヘリポート
	乗馬
	体育館
	牧場
	ホール
	自動車学校
	トンネル
	船着場（観光船等）
	野球場
	展望台

サービスエリア（SA）
パーキングエリア（PA）

記号	名称
IC	IC
スマートIC	スマートIC

記号	名称
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所
スマートIC	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
i	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認　13-131）[2014 年 3 月発行データ使用]
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 1/2,500 国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第 52 号 平成 10 年 4 月 2 日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 都市計画基本図を使用したものである。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用したものである。(平成 12 年 養建第 1902 号) この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 1/2,500 全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平 10．近公．第 34 号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15 大木建第 734 号) この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16 堀第 5417 号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。（承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。(承認番号 :18 東デ共 041 号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画 (1/2,500) を使用し調製したものです。(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇部第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇部第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号) 周防建設第 56 号 平成 18 年 5 月 12 日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調製したものである。(承認番号平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温都第 174 号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 350 号 平成 18 年 9 月 19 日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 611 号 平成 19 年 2 月 28 日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第 18-10 号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。（長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認）
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 484 号 平成 19 年 1 月 30 日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第 010634 号 平成 18 年 10 月 4 日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図 (1/5,000) を使用し調製したものである。承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の５千分の１森林基本図を使用しました。(測量法第 44 条第 3 項の規定に基づく成果使用承認 平成 19 年 8 月 8 日付、承認番号 林政 19-482 号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。（承認番号 平成 18 年 11 月 30 日 指令水緑 -947）
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第 12-25 号 平成 19 年 12 月 13 日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ (18 国地部公発第 334 号) を使用したものである。(承認番号 情企第 590 号 平成 20 年 3 月 24 日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 14 日付け 18 高森推第 568 号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 404 号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19 年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平 21 樽港事第 33 号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の 5000 分の 1 の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成 21 年森計第 477 号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 497 号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第 8 号 平成 21 年 5 月 27 日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の２千５百分の１幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都計第 185 号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料Ｈ・１ - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 22 業使、第 311 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 23 情使、第 43 号 -46 号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。（承認番号 平 19 林振第 246 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 23 情使、第 283 号 -46 号）
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23 田街第 55 号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。（承認番号 平 24 情使、第 199 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 24 情使、第 780 号 -46 号）
- このデータは、国土地理院長の承認を得て、同院の「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成 26 年 3 月 22 日撮影）」を利用して作成したものである。（承認番号　国地企調第 89 号 平成 26 年 6 月 13 日）

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2014年３月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

駐車場データについて

- 駐車場データは、株式会社アイ・エム・ジェイ提供の2013年10月データを使用しています。

タウンページデータについて

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2014年３月現在のデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

ハローページデータについて

- 訪問宅（個人宅）電話番号データ(ハローページデータ)は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2014年３月時点をのデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

料金データについて

- 高速道路(有料道路を含む)料金データは、2014年3月調査で2014年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

抜け道データについて

- ぬけみちデータは、㈱昭文社発行の「抜け道データ 2013年７月版」のデータを使用しています。

放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2014年４月現在のものです。放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報及び個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】
第１条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第３条第１項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第２条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第３条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウエア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第４条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用､再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第５条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウエア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第６条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第７条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第８条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第９条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から２週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第１０条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第１１条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第１２条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は「情報・設定メニュー」［システム］ーその他内の［オープンソースライセンス］です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル 1）、簡易図形情報（レベル 2）の情報表示について
  <問い合わせ先>
  VICSセンター 運用管理室
  電話受付時間
  9:30 ～ 17:45（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  電話番号
  0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
  ※ PHS、IP電話等からはご利用できません。
  FAX受付時間　24時間
  FAX番号（全国）03-3562-1719
- VICS関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示（レベル 3）の情報表示について
  <問い合わせ先>
  JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
  フリーダイヤル 0120-977-846
  （ディーラーオプション専用窓口）
  FAX　045-450-2308
  住所　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
  受付時間　月曜～金曜 9:30 ～ 18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
- VICSの最新情報について
  VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネットURL http://www.vics.or.jp/
  なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICS リンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総則

（約款の適用）
第１条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第４条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形

態のサービス
（2） 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3） 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
（VICS サービスの提供時間）
第５条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契約

（契約の単位）
第６条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第７条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第８条　VICS サービスは、VICS 対応ＦＭ受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICS サービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1） 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2） 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2.　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICS サービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

・ 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

● USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
● 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard) には対応していません。
*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

● miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
● ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
● 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16 もしくは FAT32 であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
● 本機は SD-Audio には対応していません。
● 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
● SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。 保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0（High Speed）*1
デバイスクラス	マスストレージクラス（MSC device）*2
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32*3

*1：USB3.0 には対応していません。
*2：使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
*3：この他のファイルシステム (NTFS、exFAT 等) には対応していません。

USB 機器使用上のご注意

● 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
● マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
● セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
● USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
● USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit*	16bit	16bit/24bit*
ビットレート	8 ～ 320kbps, VBR	8 ～ 320kbps	8 ～ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 88.2kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 88.2kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル : 0 ～ 8		

* : 16bit 相当で再生します。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video		H.264/MPEG-4 AVC			WMV
対応形式	ISO MPEG4		H.264/MPEG-4 AVC			Windows Media Video Ver.9(VC-1)
ファイルコンテナ	AVI	MP4	AVI	MP4	FLV	ASF
拡張子	.avi	.mp4	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.wmv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル		ベースラインプロファイル、メインプロファイル			メインプロファイル
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC			WMA
最大ピクチャサイズ	1280 × 720		1280 × 720			1280 × 720
最大フレームレート	30fps		30fps			30fps
最大ビットレート	8Mbps		8Mbps			8Mbps

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

(1) ファイル名とフォルダ名

- 本機で表示できる文字：
  半角英数文字、半角カタカナ、全角文字
- 文字数制限：
  ファイル　全角 80 文字（拡張子は除く）
  フォルダ　全角 80 文字
  ファイル名またはフォルダ名が 文字数制限を超えると再生できません。
- 使用できない文字：
  ￥、\、/、:、*、?、"、＜、＞、|
  ファイルには、正しく拡張子を付けてください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

- 1 フォルダ内の最大ファイル数：999
  1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
  フォルダ階層数に制限はありませんが、フォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
  デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

- ファイル名の昇順
  ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
  下図の例では、①から⑩の順で再生されます。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。
Made for

- iPod nano (7th generation)*
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod classic
- iPod touch (5th generation)*
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 6 Plus*
- iPhone 6*
- iPhone 5s*
- iPhone 5c*
- iPhone 5*
- iPhone 4s
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

  *：音楽再生のみに対応

- ● 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応 iPod を区別する場合には「iPod ビデオ」と呼びます。
- ● 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

変換コード（USB-iPod）（C9K2 V6 270）（別売）

- ● iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone5s、iPhone5c、iPhone5、iPod touch 5th generation、
  iPod nano 7th generation を使用する場合は iPod/iPhone に付属のケーブルを使用してください。
  付属のケーブルを使用する場合は、車内に放置しないでください。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- ● HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- ● OPP（オブジェクトプッシュプロファイル）
  電話番号などのデータを 1 件ずつ vCard 形式で伝送するためのプロファイルです。
- ● PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- ● A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- ● AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- ● SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1+EDR 準拠
* SCMS-T 対応
（SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）

対応コーデック

SBC/AAC

- 動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。
  http://www2.jvckenwood.com/products/oem/mazda/
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。
	暗証番号設定されている。	設定した暗証番号を入力してください。(➜ P.119)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画面の明るさが暗い設定になっている。	画面の明るさを調整してください。(➜ P.16)
画面が見にくい。	見る角度によって画面の明るさ、色、画質が変わります。	画面の明るさ、視野角、映像の画質を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➜ P.81)
バックモニターカメラに切り替わらない。	バックモニターカメラの設定が OFF" になっている。	バックモニターカメラの設定を "ON" にしてください。(➜ P.141)
	バックモニターカメラが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➜ P.110)
音質が悪い（音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	お買い上げの販売店にご相談いただき、接続を確認してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは 200m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(➜ P.77)
経由地を設定できない。	すでに 4 か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(➜ P.71)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	お買い上げの販売店で設置場所をご確認ください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(➜ P.120) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m 〜 1km（一般道は 10m 〜 500m、一般道の駐車場情報は 10m 〜 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(➜ P.101)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が "OFF" に設定されている。	VICS 設定画面で、割り込み表示を "ON" に設定してください。(➜ P.102)
	VICS ビーコンユニットまたは DSRC 車載器が接続されていない。	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）または本機対応の DSRC 車載器を接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	VICS ビーコンユニットまたは DSRC 車載器が接続されていない。	VICS ビーコンユニット（C9K2 V6 620 別売）または本機対応の DSRC 車載器を接続してください。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。（➜ P.108）
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内の音声出力を“ON”に設定してください。（➜ P.107）
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	現在地図画面に切り替えてください。（➜ P.45）
	画面がオフになっている。	画面にタッチして表示をオンにしてください。（➜ P.16）
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。 （➜ P.17）
ルート画面が表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。（➜ P.160）
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。 （➜ P.160）
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります	—

● ワンセグ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。（➜ P.86）
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
ワンセグ放送が受信できない。	車の場所が、ワンセグ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。（➜ P.86）
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が、現在地周辺の放送局と合っていない。	初期スキャンをし直してください。（➜ P.86）
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod が正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod が正しく接続されているかご確認ください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
本機に接続すると、iPod の操作ができなくなる。	iPod モードが本機で iPod を操作するモードになっている。	iPod モードを切り替えてください。(➜ P.91)

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しないでください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.160)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、＼、/、:、*、?、”、＜、＞、｜ ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名 : 全角 80 文字 ファイル名:全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていません。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は“0000”を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げています。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください
	他の Bluetooth 機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳のダウンロード中などには、音声が途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	受話音量が小さくなっています。	通話中に調整してください。
ハンズフリー通話中にエコー（残響音）が気になる。	受話音量が大きくなっています。	受話音量を小さくしてください。通話中に調整してください。
	同時に話している	一呼吸おいて交互に話してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、スピーカー配線をご確認ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、スピーカー配線をご確認ください。
ワンセグアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	ワンセグアンテナケーブルの配線がショートしています。お買い上げの販売店にご相談いただき、ワンセグアンテナの配線をご確認ください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、GPS アンテナの配線をご確認ください。
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、車速検出コードの接続をご確認ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談いただき、ETC 車載器の接続をご確認ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。 ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。 ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● カメラ

メッセージ	対処
カメラ映像がありません。	お買い上げの販売店にご相談いただき、カメラの接続をご確認ください。
走行中は調整できません。	バックモニターカメラのガイド線調整は、安全なところに停車した状態で行ってください。
カメラが正常に動作していません。	お買い上げの販売店にご相談いただき、カメラの接続をご確認ください。

● AV(共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(➜ P.160)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、 これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は最大 500 件までです。不要な電話帳の登録を削除してください。(➜ P.134)

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重(内蔵) 電波 / 光ビーコン対応(別売)

● モニター部

画面サイズ (幅x高さx対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーインピーダンス	4～8Ω
AV 入力(×2) (AV-IN1、AV-IN2)	映像入力レベル:1Vp-p/75Ω 音声最大入力レベル:2.0Vrms
バックカメラ専用映像入力	専用コネクター×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
VIDEO 入力 (φ3.5×1) (iPod ビデオ専用)	映像入力レベル:1Vp-p/75Ω

● ワンセグ部

受信方式	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス(ワンセグ)
受信チャンネル	UHF13～52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0(High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32
最大供給電流	1 A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● 対応メディア

USB/ SD	音声	MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, OPP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	13.2V (10.0V ～ 15V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-30 ～+ 60℃
本体	外形寸法(W × H × D) 195.5mm × 172.9mm × 245.9mm
	埋込寸法(W × H × D) 177.5mm × 49.6mm × 180.2mm
	質量(重さ)2,350 g
GPS アンテナ	外形寸法(W × H × D) 36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長 3.5m
	質量(重さ)85g

● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長(アンテナケーブル)	4.0m×1
アンテナ部(エレメント外形寸法)	117.5mm×86mm
質量(重さ)	約 35g(ケーブル含む)

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

この製品には、ご購入証明書を添付しております。ご購入証明書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(➜ P.164)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6 年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。
また、本機の操作方法についてはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846
(ディーラーオプション専用窓口)

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

索引

数字

B

D

E

I

P

Q

U

V

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

ち

つ

て

と

な

ぬ

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

り

る

れ

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

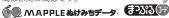
iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

渋滞ぬけみちデータとして以下の情報を基に作成されています。
- 株式会社昭文社渋滞ぬけみちデータ

渋滞ぬけみちデータ、まっぷるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。

MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。
「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Ubiquitous

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

ETC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

DSRC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2014 All Rights Reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

本製品には、株式会社アニモの音声合成ソフトウェア「ANIMO FineSpeech V3.1」を使用しています。
FineSpeech は、富士通株式会社の登録商標です。

Android」、「Google Play」は Google Inc. の商標または登録商標です。

libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
-

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis
Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
-

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.